

安全な乗車に関する情報

適切な予防策を講じないと、丘の上や障害物を越えて曲がったり運転したりするなどの日常的な操作中でも、衝突または転倒がすぐに発生する可能性があります。

安全のために、本オーナーズマニュアルに含まれているすべての警告とATVに貼られているラベルを理解してそれに従ってください。本オーナーズマニュアルは常にATVと一緒に保管してください。

本マニュアルに記載されている警告に従わないと、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

本マニュアルでは、特に重要な情報には、次のアイコンおよび表記が付記されています。



三角形の中に感嘆符の入った安全警報シンボルは、注意！警告！安全に影響を及ぼす可能性あり、を意味しています。



警告シンボルに関連する指示に従わないと、運転者、乗客、傍観者、またはATVを検査または修理する人の重傷または死亡につながる可能性があります。



注意シンボルは、ATVの損傷を防ぐために特別な予防措置を講じる必要があることを示しています。

■ 注記

注記シンボルは、手順に関連した重要な情報を記載したり、操作についてわかりやすく説明するためのものです。

安全性に関する説明

前書き

ATV (All-Terrain Vehicle : 全地形対応車) をご購入いただき、誠にありがとうございます。本車両は米国の工学技術と世界的な製造知識を使って構築され、優れた乗り心地、優れた快適性、強力なユーティリティ機能を提供するよう設計されています。

本オーナーズマニュアルは、安全なATVの操作手順を確実に理解していただくために作成されました。また、ATVの一般的な取り扱いと保守に関する情報も含まれています。

本マニュアルをよくお読みください。ATVについて質問がある場合は、KYMCO ATV正規販売店にお問い合わせください。KYMCO ATV正規販売店だけが、可能な限り最高のサービスを提供するための知識とリソースを持っていることを忘れないでください。

安全運転のために

ATVを運転して楽しむには、お客様とお客様の家族が責任を持って操作する必要があります。ATVに乗る前に、次のことを行う必要があります。

- お使いの地域の都道府県および市町村の条例を学び、それを遵守する
- ATVとその機能および制限を尊重する
- 環境と他者の権利を尊重する

本マニュアルに記載されているATVの推奨保守プログラムに厳格に従うことをお勧めします。本予防保守プログラムは、ATVのすべての重要なコンポーネントが異なる間隔で徹底的に検査されるように設計されています。

本マニュアルの情報は、印刷時の最新の製品データと仕様に基づいています。KYMCO Inc.は、予告なしに図や説明に影響を与える製品の変更や改善を行う権利を留保します。

	年齢 (歳)	エンジンサイズ (cc)	速度制限 (km/h)
KYMCOおよびATV Safety Instituteは、すべてのATV運転者が自分の年齢に適したATVに乗ることを推奨しています。	6~11	70まで	16~規定値/24~最大
	12~15	90まで	24~規定値/48~最大
	16以上	90以上	国内規制に従います

目次

安全な乗車に関する情報.....	1	シフトレバーの調整.....	35
安全性に関する説明.....	2	フロントブレーキおよびリアブレーキ.....	36
安全上の注意.....	5	燃料.....	37
警告に関する情報.....	8	燃料関連のトラブルシューティング.....	38
部品とコントロールの位置.....	10	エンジンオイル.....	39
一般情報 - 制御と操作.....	12	エンジンオイルレベルの確認.....	40
序文.....	12	推奨されるリアドライブの潤滑.....	40
車両識別番号 (VIN).....	13	タイヤ.....	41
エンジンシリアル番号 (ESN).....	13	クーラント.....	43
イグニッションスイッチキー.....	13	ATVの操作 - 冷えたエンジンの始動.....	45
イグニッションスイッチの操作.....	13	冷えたエンジンの始動.....	46
ステアリングロックキー.....	14	暖かいエンジンの始動.....	47
ステアリングロックの操作.....	14	緊急ジャンプ始動.....	48
計器とインジケータライト.....	15	エンジンの慣らし運転.....	49
左ハンドルスイッチ.....	21	パーキングブレーキ.....	50
スロットルレバー.....	24	積載.....	52
フロントおよびリアブレーキレバー.....	25	アクセサリ.....	54
ATVの駐車.....	26	乗車.....	74
リアブレーキペダル.....	26	駐車.....	74
ドライブモード選択レバー.....	28	ATVから降車する.....	74
ガソリンタンクの充填.....	29	お客様以外のライダーについて.....	75
シートラッチ.....	29	定期保守.....	76
トレーラーヒッチ.....	30	定期保守チャート.....	77
乗車前点検.....	31	工具キット/工具キットコンパートメント.....	80
ドライブモード選択レバー および後退操作.....	32	ラジエーター.....	82
ドライブモード選択レバー.....	34	ショックアブソーバー.....	82
		エンジンオイル.....	83

目次

スパークプラグ.....	88	保管後のATVの乗車保管.....	111
エアクリーナフィルター.....	89	仕様*.....	112
スロットルレバーの調整.....	91	排出ガスと注意事項タンパリングアラート.....	116
ブレーキホース.....	92	保守記録.....	117
ブレーキパッド.....	92	識別番号記録.....	119
リアフットブレーキ.....	92		
ブレーキ液の検査.....	93		
冷却システムの検査.....	94		
エンジンの過熱.....	95		
ホイール.....	96		
ホイールの取り外し.....	96		
ホイールの取り付け.....	96		
タイヤトレッド.....	98		
タイヤ交換.....	98		
チューブレスタイヤの修理.....	99		
バッテリー.....	99		
バッテリーの取り外し.....	100		
ヒューズ.....	101		
電球の交換.....	102		
ヘッドライト.....	102		
テールライト/ブレーキライト.....	102		
ヘッドライトビームの調整.....	103		
制御ケーブルの検査と潤滑.....	104		
トラブルシューティング.....	105		
トラブルシューティングチャート.....	106		
ATVを清掃する.....	107		
保管の準備.....	109		

ATVは、玩具ではありません。運転により、危険を引き起こす可能性があります。

安全上の注意

- 常にゆっくりと走行してください。不慣れな土地でATVを操作するときは、特に注意してください。ATVを操作するときは、状況や地形の変化に常に注意してください。
- 過度に起伏の多い、滑りやすい、または緩い地形でATVを操作しないでください。
- 方向転換については、本マニュアルに記載されている適切な手順に常に従ってください。速い速度で曲がる前に、遅い速度で曲がる練習をしてください。過度の速度で曲がらないでください。
- 事故が発生した場合は、必ずKYMCO ATV正規販売店にATVの検査を依頼してください。
- ATVやお客様の能力に対して急すぎる丘でATVを操作しないでください。大きな丘で走行する前に、小さな丘で練習してください。
- 本マニュアルに記載されているように、丘を登る際には常に適切な手順に従ってください。丘を登る前に、地形を注意深く確認してください。滑りやすい路面や緩い路面のある丘には絶対に登らないでください。丘を登るときは、体重を前にずらしてください。急にスロットルを開けたり、急にギアを変更したりしないでください。高速で丘の頂上に上らないでください。
- 本マニュアルに記載されているように、丘を下るときや丘でブレーキを操作するときは、常に適切な手順に従ってください。丘を下る前に、地形を注意深く確認してください。丘を下るときは、体重を後ろにずらしてください。高速で丘を下らないようにしてください。ATVが片側に急に傾くような角度で丘を下らないようにしてください。可能な場合は丘をまっすぐ下ってください。
- 丘の側面を横断する場合は、本マニュアルに記載されているように、適切な手順に従ってください。滑りやすいまたは緩い表面のある丘は避けてください。体重をATVの上り坂側にシフトさせてください。平地で本マニュアルに記載されている方向転換技術を習得するまで、丘の上でATVを方向転換しようとししないでください。可能な場合、急斜面を横切ることは避けてください。
- 丘を登るときに停止したり後方に転がったりする場合は、常に適切な手順を使用してください。丘を登るときは、失速を避けるため、一定速度を維持してください。停止または後方に転がる場合は、本マニュアルに記載されている制動の特別な手順に従ってください。上り坂、またはまっすぐ上り坂を向いている場合はどちらかの側に降りてください。ATVの向きを変え、本マニュアルに記載されている手順に従って再度乗車してください。

ATVは、玩具ではありません。運転により、危険を引き起こす可能性があります。

- 不慣れたエリア内で走行する前に、必ず、障害物を確認してください。大きな岩や倒木などの大きな障害物の上でATVを操作しようとしないでください。障害物の上での運転については、本マニュアルに記載されている適切な手順に常に従ってください。
- 横滑りや縦滑りを引き起こす可能性のある状態には常に注意してください。氷など極めて滑りやすい面の上では、横滑りまたは縦滑りにより制御を失わないよう、低速で進み、特に注意をしてください。
- 流れの速い水やフットレストより深い水でATVを操作しないでください。濡れたブレーキは停止能力を低下させる可能性があることに注意してください。水から離れた後、ブレーキをテストしてください。必要に応じて、数回ブレーキをかけて摩擦させ、パッドを乾燥させてください。
- ATVを後退操作するときは、後ろに障害物や人がいないことを常に確認してください。後退方向に進んでも安全な場合は、ゆっくりと進んでください。後退しながら鋭角に曲がらないようにしてください。
- 本マニュアルに指定されているサイズとタイプのタイヤを常に使用してください。本マニュアルに記載されている通り、適切なタイヤ空気圧を常に維持してください。
- 本ATVにアクセサリを不適切に取り付けたり、不適切に使用したりしないでください。
- 本ATVにツイストグリップスロットルを取り付けしないでください。
- ATVの記載されている積載能力を超えないようにしてください。貨物を適切に分散させ、しっかりと固定するようにしてください。貨物の運搬やトレーラーの牽引については、速度を落とし、本マニュアルの指示に従ってください。ブレーキをかける距離を長くしてください。
- 16歳未満の人は、本ATVを操作しないでください。16歳であっても、ATVを安全に操作できない場合があります。保護者が常にATVの使用を監督するようにしてください。保護者は、運転者がATVを安全に操作できると判断した場合にのみ、継続使用を許可するようにしてください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

ATVの安全上の警告

ATVは玩具ではなく、運転により、危険になる可能性があることに注意してください。ATVは、オートバイや自動車などの他の車両とは異なる方法で操作します。適切な予防策を講じないと、丘の上や障害物を越えて曲がったり運転したりするなどの日常的な操作中でも、衝突や横転がすぐに発生する可能性があります。

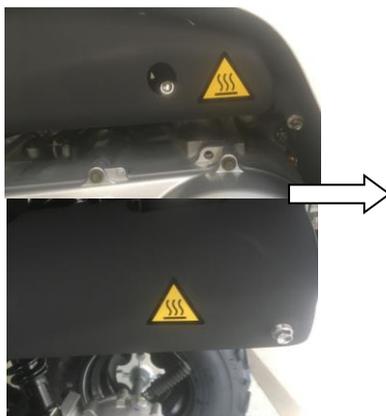
死亡または重傷を回避するために

- 本マニュアルおよびATVのすべての安全ラベルに記載されている警告に特に注意してください。
- 適切な指示のない状態で、ATVを操作しないでください。初心者と経験が浅い運転者は、トレーニングコースを完了する必要があります。
- 常に次の年齢の推奨事項に従ってください。
 - 12歳未満のお子様は、エンジンサイズが70cc以上のATVを操作しないでください。
 - 12～16歳のお子様は、エンジンサイズが90ccを超えるATVを操作しないでください。
 - 16歳未満のお子様は、大人の監督のない状態で、ATVを操作しないでください。すべてのお子様にATVを安全に操作するための力、体の大きさ、スキル、または判断力が備わっているわけではないため、お子様を注意深く監視してください。
- ATVに乗客を乗せないでください。乗客を乗せると、ATVのバランスが崩れる可能性があり、ATVが制御不能になる可能性があります。
- 舗装された路面での走行をなるべく避けてください。ATVは舗装された路面で使用するようには設計されていないため、取り扱いや制御に深刻な影響を与える可能性があります。
- 他の車両との衝突を避けられない可能性があるため、ATVを公道で操作しないでください。また、公道でATVを運転することは法律に違反する可能性があります。
- 承認されたオートバイのヘルメット、目の保護具、ブーツ、手袋、長ズボン、長袖のシャツまたはジャケットを装着していない状態で、ATVを操作しないでください。
- ATVの操作前または操作中に、アルコールや薬物を絶対に摂取しないでください。
- ATVを過度の速度で操作しないでください。地形、視界条件、および経験に適した速度で走行してください。
- ウイリー、ジャンプ、その他のスタントを試みないでください。
- ATVを操作するとき、特に丘、曲がり角、障害物に近づくと、慣れない地形や起伏の多い地形で操作するときは、常に注意してください。
- トレーニングコースを受講していない人、またはATVを1年以上運転していない人にATVを貸与しないでください。

警告および仕様ラベルの場所

警告に関する情報

KYMCO ATVには、ハングタグと重要な安全情報を含むいくつかのラベルが付属しています。このATVに乗車する人は、ATVを操作する前にこの情報を読んで理解するようにしてください。本マニュアルと同様に、これらのラベルとタグには、ATVの安全で適切な操作に不可欠な重要な情報が含まれています。警告および情報ラベルは、ATVの恒久的な部品と見なすようにしてください。ラベルが剥がれたり判読できなくなったりした場合は、KYMCO販売店にご連絡ください。



⚠ WARNING

重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告および仕様ラベルの位置

①

WARNING

UNDER 16

Operating this ATV if you are under the age of 16 increases your chances of severe injury or death.
NEVER operate this ATV if you are under age 16.

87517-AGA2-E00

②

CAUTION

- Never carry passenger on this carrier.
- Maximum load : 20 Kg (44 lbs)

87556-AGA2-E00

③

WARNING

Improper ATV use can result in SEVERE INJURY or DEATH.

ALWAYS USE AN APPROVED HELMET AND PROTECTIVE GEAR

NEVER USE WITH DRUGS OR ALCOHOL

NEVER operate:

- without proper training or instruction.
- at speeds too fast for your skills or the conditions.
- do not operate the vehicle after consuming ALCOHOL OR DRUGS.

ALWAYS:

- use proper riding techniques to avoid vehicle overturns on hills and rough terrain and in turns.
- for your safety, wear gear to include helmet gloves and foot protection.
- gasoline is flammable. shut off engine, avoid sparks and open flame when refueling.

READ OWNER'S MANUAL, FOLLOW ALL INSTRUCTIONS AND WARNINGS.

87517-AGA2-E00

④

WARNING

IMPROPER TIRE PRESSURE OR OVERLOADING CAN CAUSE LOSS OF CONTROL. LOSS OF CONTROL CAN RESULT IN SEVERE INJURY OR DEATH.

OPERATING TIRE PRESSURE: Set with tires cold

- Recommended:

FRONT : 25-32 kPa. (0.25- 0.32 kgf/cm²), 3.5-4.5 psi
 REAR : 25-32 kPa. (0.25- 0.32 kgf/cm²), 3.5-4.5 psi

- Never set tire pressure over the recommended.

87595-AGA2-E00

⑤

CAUTION

- Never carry passenger on this carrier.
- Maximum load : 30 Kg (66 lbs)

87556-AGA2-E01

⑥

CAUTION

Before shifting, you must stop the machine and return the throttle lever to it's closed position until the engine speed return to the specified idling speed. Otherwise, the transmission may be damaged.

87322-AGA2-E00

⑦

WARNING

Exceeding vehicle towing limit could lead to an accident. Reduce speed when towing a trailer. Read owner's manual for details.

MAXIMUM TOWING CAPACITY , 227 kg (500 lbs)
TONGUE WEIGHT , 16 kg (35 lbs)

87514-AGA2-E70

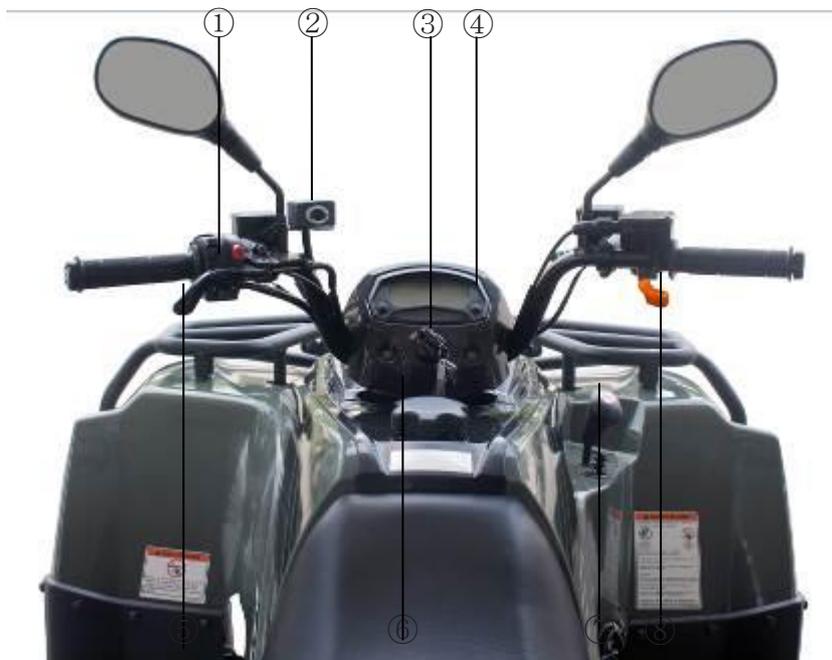
部品とコントロールの位置



- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. シート/シートラッチ
{バッテリー/ヒューズ/バッテリーカットオフスイッチ (シートの下)} | 7. ヘッドライト |
| 2. フロントブレーキレバー | 8. VIN番号 |
| 3. シフトレバー | 9. ウィンチ |
| 4. リアブレーキレバー | 10. テールライト/ブレーキライト /
リアターンシグナルライト |
| 5. クーラントリザーバー | 11. ライセンスライト |
| 6. フットブレーキ | 12. トレーラーソケット |
| | 13. トレーラーヒッチ |

■ 注記：ご利用のATVは、本マニュアル内の画像と外観が若干異なる場合があります。

部品とコントロールの位置



1. 左ハンドルバースイッチ
2. ウィンチスイッチ
3. イグニッションスイッチ
4. ダッシュボード
5. リアパーキングブレーキレバー
6. 燃料タンクキャップ
7. シフトレバー
8. スロットルレバー

■ 注記：ご利用のATVは、本マニュアル内の画像と外観が若干異なる場合があります。

一般情報 - 制御と操作

序文

本KYMCO ATVをお選びいただきありがとうございます。信頼性が高く楽しい操作を提供するように設計および製造されています。本オーナーズマニュアルは、ATVの恒久的な部品としてお考えください。また、車両を譲渡される場合は、本冊子も共にお渡しください。ATVの所有権を変更した場合、新しい所有者を登録する方法については、KYMCO JAPAN株式会社にお問い合わせください。

マニュアルのこのセクションは、ATVの操作と保守に必要な情報を提供するために、KYMCOのエンジニアとサービススタッフによって作成されました。このセクションでは、操作に関連する手順、およびサービスと保管の手順についても説明します。ATVの修理やサービスが必要な場合は、KYMCO ATVの正規販売店に連絡して、専門的なサービスを受けてください。

お客様は、KYMCO ATVの所有者および運転者として、ATVの基本的な操作、保守、および保管手順に完全に精通するようにしてください。安全かつ適切な使用を確保するために、KYMCO ATVを操作する前に、オーナーズマニュアル全体を読んで理解してください。常にお客様のスキルレベルと現在の地形条件の範囲内でATVを操作してください。

発行時点では、本マニュアルのすべての情報と図は技術的に正しい内容です。本書の一部の図は、特定の手順または項目を最もよく表すために使用されており、実際の状態を表すことを意図したものではありません。KYMCOは常に製品の改良と改善を行っているため、ATVの画像と、本マニュアルおよびATVに記載されているテキストとの間に違いがある場合があります。そのため、遡及義務は発生しないものとします。

部品および付属品

KYMCO ATV用の交換部品、オイル、付属品が必要な場合は、純正のKYMCO部品および付属品とKYMCO推奨オイルのみを使用してください。これらの品目は、KYMCO ATVの基準と要件を満たすように設計および承認されています。付属品の完全なリストについては、現在のKYMCO ATV付属品カタログを参照してください。このATVのサービスと保守の手順を支援するために、サービスマニュアルと図によるパーツリストも最寄りのKYMCO ATV販売店から入手することができます。

一般情報

車両識別番号 (VIN)

①は、フレームの前面下部のクロスメンバーにあります。



エンジンシリアル番号 (ESN)

ESNはエンジンクランクケースの背面の背面にあり、エンジンの側面から確認することができます。

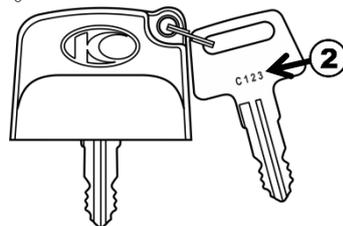
VINとESNは、KYMCO 販売店が適切な部品を注文し、サービスを実行し、保証請求を提出するために必要です。KYMCO ATV正規販売店にサポートを依頼するときは、常にATVの年式、モデル、VIN、およびESNを提供してください。

■ **注記：本マニュアルの裏表紙の内側に、VINとESNの情報を記録してください。**

VIN、ESN、またはATVが何らかの方法で削除または変更された場合、KYMCOは保証修理を拒否します。ATVでエンジンのクランクケースやフレームを交換する修理が必要な場合は、販売店にKYMCOに連絡して詳細を相談するように依頼してください。

イグニッションスイッチキー

KYMCO ATVには、2つのイグニッションスイッチキーが付属しています。2つ目のキーは予備として保管し、安全な場所に保管してください。各キーには識別番号②が刻印されています。交換用のキーを注文するときは、この番号を使用してください。



イグニッションスイッチの操作

ATVのキーを使用して、「ロック解除」し、イグニッションスイッチを操作します。イグニッションスイッチには2つの位置があります。

OFF位置 - すべての電気回路（付属品プラグを除く）がオフになっています。エンジンはスタートも稼働もしません。キーは、この位置で取り外すことができます。

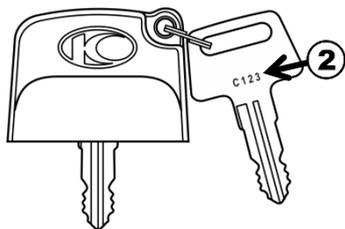
ON位置 - イグニッション回路がオンになっており、エンジンをスタートして運転することができます。この位置ではキーを取り外すことはできません。

■ **注記：付属品プラグには、常にバッテリーから電力が供給されます。**

コントロールの位置と機能

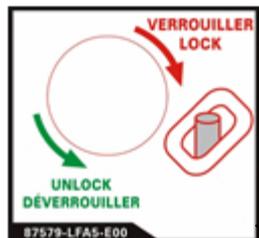
ステアリングロックキー

KYMCO ATVには、2つのステアリングロックキーが付属しています。2つ目のキーは予備として保管し、安全な場所に保管してください。各キーには識別番号②が刻印されています。交換用のキーを注文するときは、この番号を使用してください。



ステアリングロックの操作

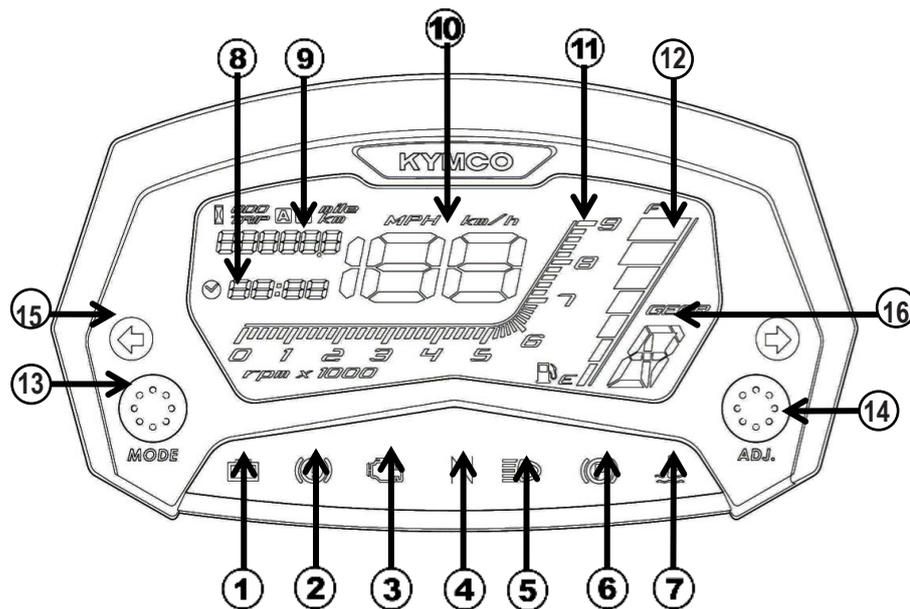
ステアリングロックをかけるには、ハンドルバーを右に回し、ロック内でキーを時計回りに回してください。エンジンが作動している間は、ステアリングロックを絶対にかけないでください。



コントロールの位置と機能

計器とインジケータライト

計器とインジケータライトは、ATVの安全で適切な操作に不可欠な情報を提供します。



1. バッテリー低電圧警告
2. フットブレーキ液レベル警告
3. CELPインジケータ
4. ニュートラルギア位置インジケータ
5. ハイビームインジケータ
6. パーキングブレーキインジケータ
7. クーラント温度警告インジケータ
8. デジタル時計
9. 走行距離計/トリップメータ
10. スピードメータ
11. タコメータ
12. 燃料計
13. MODEボタン
14. ADJボタン
15. ウィンカーインジケータ
16. ギア位置インジケータ

コントロールの位置と機能

1. バッテリー低電圧警告

バッテリー電圧が低すぎると点滅します

2. フットブレーキ液レベル警告

フットブレーキ液レベルが低すぎると点滅します。ブレーキリザーバータンクにブレーキ液を追加してください。

3. CELPインジケーター

CLEPインジケーターは、ATVのエンジン、燃料、または電気システムで障害が検出された場合に点灯します。CLEPインジケーターが点灯した場合は、できるだけ早くATVをKYMCO ATV正規販売店に持って行き、サービスを受けてください。

■ 注記：CELPインジケーターが正常に機能しているかどうかを確認するには、エンジンを始動せずにイグニッションスイッチを「ON」の位置に回してください。CLEPインジケーターが故障している場合は、エンジン始動後も点灯します。故障している場合、CLEPインジケーターは点灯したままになります。

4. ニュートラルギア位置インジケーター

ギアがニュートラルギア位置にシフトすると、インジケーターが点灯します。

5. ハイビームインジケーター

ヘッドライトスイッチをハイビーム(Ⓔ)に切り替えると、ハイビームインジケーターが点灯します。

6. パーキングブレーキインジケーター

パーキングブレーキがかかっているかどうかを示します。

7. クーラント温度警告インジケーター

クーラント温度が指定されたレベルに達すると、このインジケーターが点灯します。運転中にインジケーターが点灯した場合は、エンジンを素早く停止し、約10分間エンジンを冷却してください。

8. デジタル時計

時刻を表示します

9. 走行距離計/トリップメーター

走行した総マイル/キロメートル、走行したトリップマイル/キロメートルを表示します。

10. スピードメーター

おおよそのATV速度をマイル/時 (MPH) またはキロメートル/時で表示します。

11. エンジンタコメーター

この円形ゲージは、~~校正されたアナログダイヤルに~~エンジンの1分あたりの回転数 (RPM) を表示します。

12. 燃料計

燃料計は、目盛り付きディスプレイで利用可能なおおよその燃料供給量を示します。通常の動作燃料範囲は、~~セグメント~~~~F~~からEまたは燃料インジケーターの間のセクションです。セグメントEまたは燃料インジケーターが点滅すると、燃料が少なくなっているため、できるだけ早くタンクに燃料を補給してください。

コントロールの位置と機能

13. MODEボタン

このボタンは、スピードメーターとトリップメーターのkm/h、mph、km、またはマイルの設定を選択するために使用されます。このボタンは、時計の時刻を調整したり、トリップメーターをリセットしたりするためにも使用されます。

14. ADJボタン

このボタンは、ODO、TRIP A、TRIP Bを選択するために使用されます。

このボタンは、時間を調整し、トリップメーターをリセットするためにも使用されます。

15. ウインカーインジケーター

どちらかのウインカーを使用しているときに点滅します。

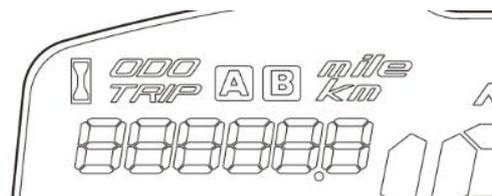
16. ギア位置インジケーター

選択されているトランスミッションモードを示します。

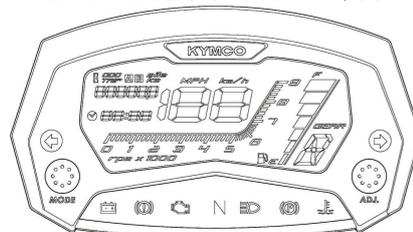
R=リバース、N=ニュートラル、L=ローレンジ、H=ハイレンジ

1) 走行距離計/トリップメーター

走行距離計は、総距離をKmまたはマイル単位で表示します。トリップメーターは、トリップ距離をKmまたはマイルで表示します。



ADJボタンを押して、ECUの稼働時間を表示します -
CLOCK-ODO-TRIP A- TRIP Bをサイクルで表示します。

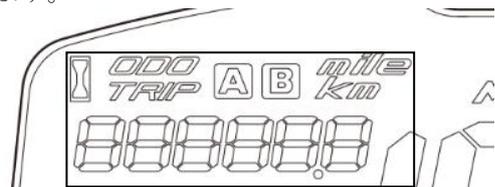


MODEボタンを押して、マイルまたはキロメートル ~~(Km)~~
表示を選択します。

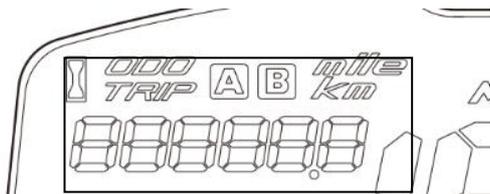
コントロールの位置と機能

2) トリップメーターをリセットするには:

1. ADJボタンを押してトリップメーターの表示を選択します。



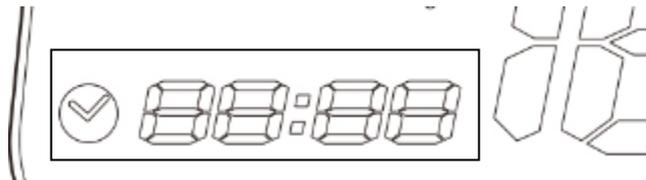
2. トリップメーターの設定がゼロに戻るまで、MODEボタンとADJボタンを同時に押し続けます。



3) デジタル時計

イグニッションが「ON」のとき、時刻（時および分）を表示します。

- A. イグニッションスイッチを「ON」に切り替えます
- B. ADJボタンを押して時計モードを選択します

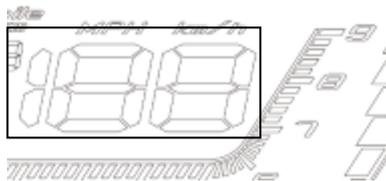


- C. ADJボタンとMODEボタンの両方を押すと時間桁が点滅し始めます。ADJを押して時間表示を調整します
- MODEボタンを押すと分桁が点滅し始めます。ADJを押して分表示調整します
- D. ADJボタンとMODEボタンの両方を押して時計調整を終了します。

コントロールの位置と機能

4) スピードメーター

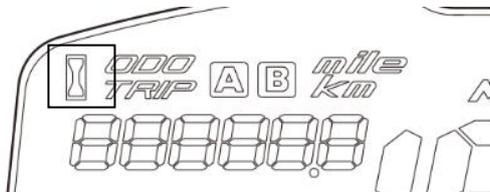
このディスプレイには、走行速度がMPHまたはkm/hで表示されます。



MODEボタンを押して、MPHまたはkm/h表示を切り替えます。

5) エンジン稼働時間 (アワーメーター)

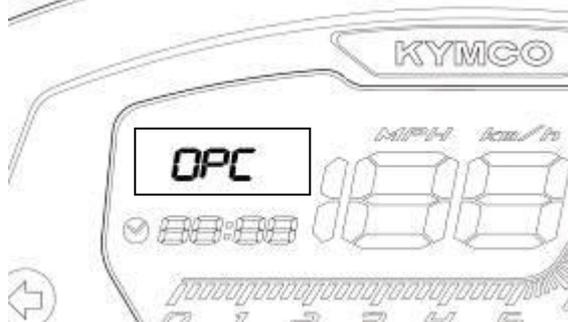
アワーメーターは、エンジンが稼働した合計時間を表示します。このメーターはリセットできません。



6) オペレータープレゼンスコントロール (OPC) 警告

10秒後、オペレータープレゼンスコントロール (OPC) がアラーム信号をアクティブにし、次のいずれかの条件が満たされると、ゲージディスプレイに「OPC」が表示されます。

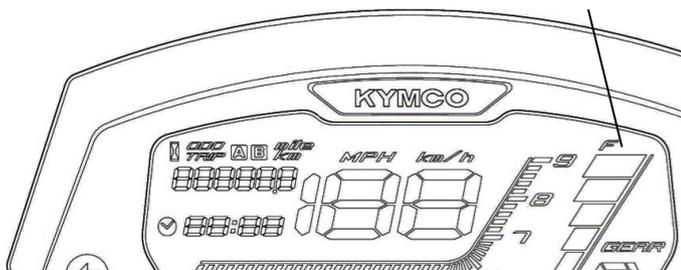
- A. イグニッションがオンになっているか、エンジンが1800 rpm未満で動作しています。
- B. サムスロットルが作動していません。
- C. サービスブレーキが作動しません。
- D. リアパーキングブレーキが作動していません



7) 燃料レベルゲージ

燃料計は、目盛り付きディスプレイを介して利用可能なおおよその燃料供給を示します。レベルは通常、燃料タンクがいっぱいになったときの「F」から、燃料がなくなったときの「E」までの範囲になります。燃料レベルが非常に低くなると、針は「E」セグメントを指し、燃料レベル低下警告インジケータが点滅し始め、燃料がすぐに必要であることを警告します。

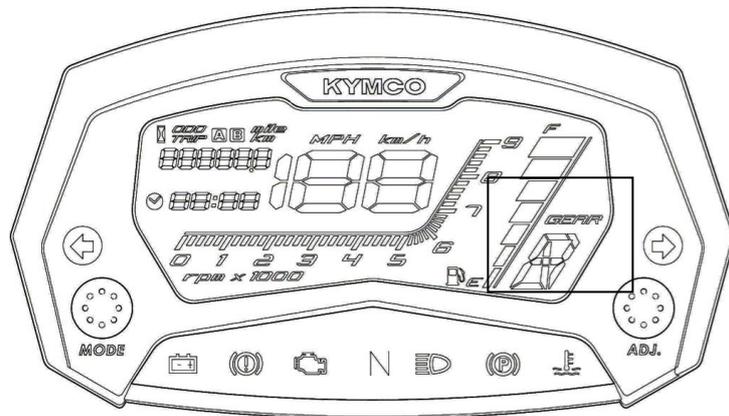
燃料レベルゲージ



1. 「F」セグメント - タンクが燃料でいっぱいです
2. 「E」セグメント - タンクに燃料がありません
3. 点滅インジケータがオペレーターに燃料を追加するように警告します

8) ギア位置ディスプレイ

ギア選択ディスプレイは、ATVのギア位置を示します



- 注記：ギア選択ディスプレイに「E」が表示されている場合、トランスミッションシフトの制御を失う可能性があります。すぐに運転を停止し、**KYMC**O正規販売店に確認を依頼してください。

コントロールの位置と機能

左ハンドルスイッチ



ヘッドライトHI/LOスイッチ①

HI/LOスイッチを使用して、ハイまたはローヘッドライトビームを選択します。または、イグニッションスイッチがLIGHTSの位置にある場合は、ヘッドライトがありません。スイッチが D 位置にあるとき、ハイビームが点灯します。スイッチが D 位置にあるとき、ロービームが点灯します。

▲注意

イグニッションスイッチをオンに切り替え、エンジンが作動していない場合、バッテリーが放電して上がる可能性があります。

ウインカースイッチ②

ウインカースイッチを使用して、別の方向に曲がったり、別の車線に移動したりします。スイッチを操作し、イグニッションスイッチをオンにすると、ウインカーライトが点滅します。

「 \blacktriangleleft 」は、「左折」するときに使用します。

「 \blacktriangleright 」は、「右折」するときに使用します。

また、スイッチが操作されると、計器のウインカーインジケータライトが点滅します。スイッチを押すと、解除されます。

▲注意

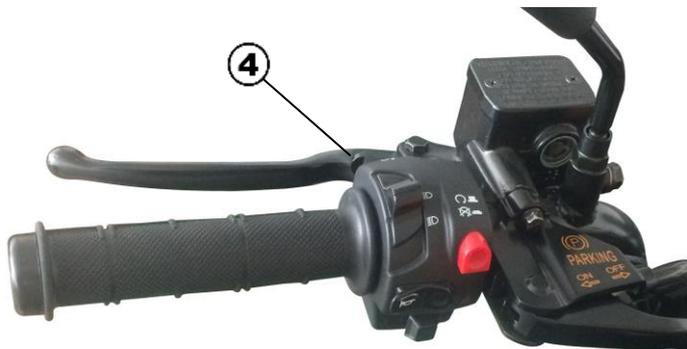
ウインカーライトは、自動的に解除されません。使用後は必ずリセットしてください。そうしないと、交通安全に影響を与える可能性があります。

イグニッションスイッチが「オフ」である場合、ウインカースイッチは作動しません。

ホーンボタン③

イグニッションスイッチがONであるとき、ホーンボタンを押すと、音が鳴ります。

コントロールの位置と機能



スターターボタン④

このボタンを押すと、スターターモーターが作動します。エンジンを始動する前に、イグニッションスイッチがオンの位置にあり、トランスミッションがニュートラルにあり、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

- 注記：ATVには、トランスミッションがニュートラルでないときに始動しないようにする安全機能があります。

▲注意

エンジンを始動する前に始動手順を確認してください。

不適切な写真（ハザードスイッチが無い）



ハザードスイッチ⑤

ハザードスイッチが押下されると、右および左ウインカーライトが同時に点滅します。ハザードスイッチをもう一度押すと、左ウインカーライトが同時に消灯します。

▲注意

駐車するとき、または、特別な条件があるとき、このスイッチをオンに切り替えてください。ハザードスイッチをオンにしても、自動的にリセットされません。交通安全に影響を与えないように、使用後は必ずリセットしてください。ウインカーライトが点滅しているとき、ハザードスイッチは作動しません。イグニッションスイッチが「OFF」の場合でも、ハザードライトは機能します。

コントロールの位置と機能



エンジン停止スイッチ⑥

○エンジン作動 ~~✕~~エンジンオフ

エンジン停止スイッチは、エンジンの横転時やスロットルケーブルが動かなくなったときなど、緊急時にエンジンを停止するために使用されます。イグニッションスイッチがオンでエンジン停止スイッチがオフの状態では、ATVが停止すると、バッテリーが放電します。バッテリーの放電を防ぐために、イグニッションスイッチをオフに切り替えてください。

■ 注記：通常、作動中は○位置にしてください。

▲注意

緊急時にのみ使用してください



ウィンチスイッチ⑦

Cable INとCable OUTを制御します

Cable OUTを決定するには、「OUT」位置までトリガーしてください

Cable INを決定するには、「IN」位置までトリガーしてください

ウィンチを停止する場合は、トリガーを離してください

コントロールの位置と機能

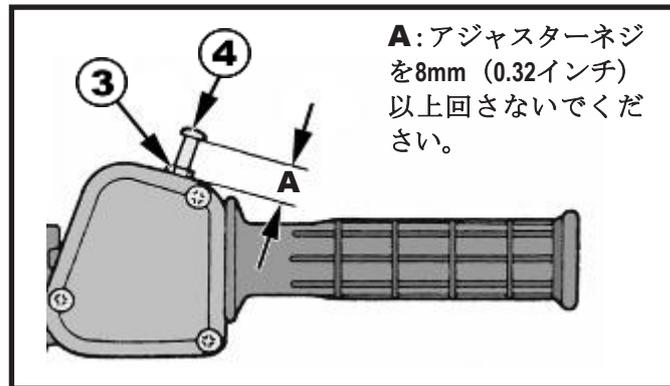
スロットルレバー



スロットルレバー①は、ハンドルバーの右側にあるドライブセレクタースイッチの下にあります。スロットルレバーの位置がエンジン出力を制御します。親指でスロットルレバーを操作してください。前方に押しすとエンジン回転数が上がり、レバーを元の位置に戻すとエンジン回転数が下がります。



スロットルが故障すると、ATVの速度を制御するのが難しくなります。これは、事故につながる可能性があります。エンジンを始動する前に、スロットルレバーの動作を確認してください。スムーズに動かない場合は、ATVに乗る前に原因を確認して修正してください。お客様自身で問題を特定したり解決したりできない場合は、KYMCO ATV正規販売店にご相談ください。



A: アジャスターネジを8mm (0.32インチ) 以上回さないでください。

スロットルリミッターネジを調整することにより、スロットルレバーの移動を制限することができます。スロットルリミッターを使用すると、ライダーのスキルと経験に合わせてATVの速度を調整することができます。スロットルリミッターを調整する場合は、以下の手順を使用してください。

1. ロックナット③を緩めてください
2. スロットルリミッターネジ④を時計回りに回すと最大エンジンRPMが下がり、反時計回りに回すと最大エンジンRPMが上がります
3. ロックナットをしっかりと締めてください

■ 注記：アジャスターネジを「8mm (0.32インチ)」以上回さないでください。

コントロールの位置と機能



スロットルリミッターネジを不適切に調整すると、スロットルケーブルが損傷する可能性があります。スロットルケーブルが損傷すると、スロットルの動作に影響を及ぼし、怪我や死亡事故を引き起こす可能性があります。スロットルリミッターを調整するときは、アジャスターネジを**8mm (0.32インチ)**以上回さないように注意してください。前ページのスロットルリミッター調整とスロットルレバーの遊び調整を参照してください。これらの部品を適切に調整することができない場合は、**KYMC O ATV**正規販売店にお問い合わせください。

- 注記：ATVには、最大エンジンRPMに近づくとタイミングを遅らせるイグニッションリミッターが装備されています。このRPMリミッターが作動すると、高速イグニッション失火と誤解される可能性があります。

フロントおよびリアブレーキレバー



KYMC O ATVには、手と足のコントロールで作動させることができるフロントおよびリアの油圧ブレーキが装備されています。

- ① 左ハンドブレーキレバー - リアブレーキを作動させます
- ② 右ハンドブレーキレバー - フロントブレーキを作動させます

左側のハンドルバーに取り付けられた左ハンドブレーキ①は、ATVのリアブレーキを作動させます。ブレーキをかけるには、レバーをハンドルバーグリップに向かって握ってください。

右側のハンドルバーに取り付けられたハンドブレーキ②は、ATVのフロントブレーキを作動させます。フロントブレーキをかけるには、レバーをハンドルバーグリップに向かって握ってください。

コントロールの位置と機能

ATVの駐車

リアブレーキペダル



ATVには、手と足のコントロールで作動させることができるフロントとリアの油圧ブレーキが装備されています。

③ リアブレーキペダル - リアブレーキを作動させます

リアブレーキペダル③は右フットレストの前に取り付けられています。リアブレーキペダルは、ATVのリアブレーキを作動させます。ブレーキをかけるには、足でペダルを踏んでください。

▲注意

氷点下でパーキングブレーキを使用すると、ロック位置でブレーキが固着する場合があります。

▲

安全のため、またATVやその他の資産への損傷を防ぐために、ATVに乗っていないときはパーキングブレーキを使用してください。パーキングブレーキを使用しないと、特にエンジンを始動しているときに、ATVが予期せず動く可能性があります。事故や衝突の原因となります。パーキングブレーキを解除せずにATVに乗ると、ブレーキが過熱して故障したり、ブレーキパッドが早期に摩耗したりする可能性があります。ブレーキの早期摩耗やブレーキシステムの故障は事故の原因となる可能性があります。ATVを停止するときは常にパーキングブレーキを設定し、エンジンを始動するときは常にパーキングブレーキをかけたままにしてください。ATVで走行を開始するときは、パーキングブレーキを必ず解除してください。

- 注記：パーキングブレーキはATVの前輪をロックする必要があります。そうなっていない場合は、ATVをKYMCO ATV認定販売店に持って行ってサービスを受けてください。

コントロールの位置と機能

リアパーキングブレーキ

リアパーキングブレーキをかけるには、レバーを位置 (A) に動かしてください。

駐車するとき、およびエンジンを始動する前にのみ、パーキングブレーキをかけてください。

リアパーキングブレーキをロック解除するには、レバーを位置 (B) に動かしてください。

(A)



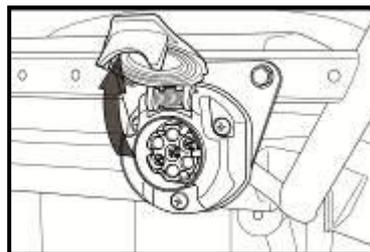
(B)



トレーラーソケット

トレーラーソケットはATVの後ろ側にあります。

トレーラーにATVの照明を提供することのみが許可されています



ソケット配線

	機能	色
1	ブレーキライト	G/Y
2	LH ターン	O
3	フォグライト信号	L (1)
4	LH インジケーター	BR/R
5	RH インジケーター	BR/Y
6	RH ターン	SB
7	接地	G

コントロールの位置と機能

ドライブモード選択レバー



本KYMCO ATVは、後退機能を備えた自動デュアルレンジトランスミッションを備えています。ATVをさまざまなドライブモードにシフトするには、ドライブモデル選択レバーを使用してください。

1. ニュートラル (N) からハイ (H) レンジに切り替える場合は、ドライブモード選択レバーを前方に動かしてください。
2. ロー (L) レンジからハイ (H) レンジに切り替える場合は、レバーを外側および前方に動かしてください。
3. ニュートラル (N) からリバース (R) ギアに切り替える場合は、シフトレバーを前方、外側、後方に動かして (R) 位置に動かしてください。

- 注記：ハイレンジは、軽負荷での通常の乗車用です。ローレンジは、重い荷物を運ぶため、または牽引するための設定です。ハイレンジと比較して、ローレンジの位置では、ホイールの速度が遅くなり、トルクが大きくなります。

▲注意

濡れた地形や起伏のある地形で操作するとき、重い荷物を牽引または押すとき、またはプラウを使用するときは、トランスミッションを常にローレンジにシフトしてください。この注意に従わないと、Vベルトの早期故障またはその他のドライブシステムの損傷につながる可能性があります。

▲注意

ATVが動いている間はトランスミッションをシフトしないでください。ATVが水平でない場所にある場合は、別のトランスミッション範囲またはリバースにシフトする前に、パーキングブレーキ（ブレーキレバーロック）を作動させてください。

コントロールの位置と機能

ガソリントankへの給油



常に、換気の良い場所で、ATVのガソリントankに燃料を給油してください。

直火の近く、またはエンジンが作動中または高温の状態、ガソリンをガソリントankに絶対に給油しないでください。ガソリントankに給油している間は喫煙しないでください。

ガソリンは温度が上昇すると膨張するため、ATVのガソリントankに定格容量までしか給油しないでください。特にタンクに冷たいガソリンを充填し、ATVを暖かい場所に移動する場合は、タンク内に膨張できる余地を維持してください。

ガソリントankに給油する前に、ATVのエンジンを冷却させてください。タンクに過充填しないように注意してください。過充填すると、ガソリンがエンジンに漏れて火災の危険が生じる可能性があります。



ガソリントankにガソリンを給油するときは、ガソリンをこぼしたり、過充填したりしないでください。これにより、火災の危険性が大幅に高まります。ガソリントankに給油する前に、必ずエンジンを冷却させてください。



ガソリントankに過充填しないでください。

ATVのガソリントankに給油した後、タンクキャップをしっかりと締めてください。

シートラッチ



シートを取り外す場合は、シートの背面にあるラッチ①リリースを持ち上げてから、シート後部を持ち上げて後方にスライドさせてください。

シートを再度取り付ける場合は、シートの前部をシートリテーナーにスライドさせ、シートの後部をしっかりと押し下げてください。

シートは自動的に所定の位置にラッチされます。



シートを取り付けてATVに乗車する前に、シートがしっかりと固定されていることを確認してください。シートが適切に固定されていないと、重傷を負う可能性があります。

コントロールの位置と機能

フラッグポールブラケット

ATVのリアラックには、フラッグポールブラケットが装備されています。フラッグポールは、KYMCO販売店から利用可能なオプション機器です。フラッグポールブラケットを使用して、フラッグポールをATVに取り付けると、操作中の視認性が向上します。

■ **注記：**フラッグポールは、一部のライディングエリアでは必須の安全部品です。乗車する前に地域の規制を確認してください。

トレーラーヒッチ

牽引または被牽引ポイントとして貨物ラックを使用しないでください。

KYMCO ATVには、標準の5.1 cm (2インチ) レシーバーヒッチ用のフレームマウントレシーバーが装備されています。標準のレシーバーヒッチは別途購入してください。

トレーラーを適切に積載する場合、次の2つの項目が重要です。総重量（トレーラーと貨物の重量）とトレーラータングの重量。

トレーラーの荷物が適切に固定されており、移動中に移動しないことを確認してください。また、トレーラーの積載量が過負荷にならないようにしてください。

ATVの重量制限を超えないようにしてください

トレーラータング重量とは、トレーラーが完全に積載され、カブラーが通常の牽引高さにあるときに、トレーラーカブラーによってヒッチに加えられる下向きの力を指します。牽引や被牽引の際は常に低速を維持し、急加速、素早い操縦、急停止を避けるようにしてください。トレーラーを牽引する場合、制動距離が影響を受けます。常に低速を維持してください。牽引中はトレーラーを牽引しない場合よりも停止距離が長くなる可能性があります。

トレーラーを牽引するときATVに乗車する場合は、細心の注意を払ってください。そうしないと、危険な作業になります。トレーラーの牽引は、ATVの取り扱いとブレーキに影響します。低速で牽引し、時速16キロメートルを超えないようにしてください。急加速や急停止は避けてください。素早い操作をしないでください。凹凸のある表面を避け、丘で牽引しないでください。トレーラーがそのような使用のために設計されていて、堅い牽引バーを持っていない限り、トレーラーには乗客を決して乗せないでください。トレーラーを牽引するときは、停止距離を長くしてください。

乗車前点検

ATVを使用する前に、以下の表と次のページに記載されているチェックを実行してください。

項目	手順	ページ
シフトレバー	<ul style="list-style-type: none">レバーが正しく作動することを確認してください。	32～34
ブレーキ	<ul style="list-style-type: none">動作、状態、ブレーキ液レベルを確認してください。必要に応じて、DOT4ブレーキ液を充填してください。 *	35、87～88
燃料	<ul style="list-style-type: none">燃料レベルを確認してください。必要に応じて、燃料を給油してください。*	37～38
エンジンオイル、ディファレンシャルギアオイル	<ul style="list-style-type: none">オイルレベルを確認してください。必要に応じて、オイルを給油してください。*オイル漏れを確認してください。	39～40
スロットル	<ul style="list-style-type: none">適切なスロットルケーブルの作動を確認してください。	23
ホイールおよびタイヤ	<ul style="list-style-type: none">タイヤの空気圧を確認してください。摩耗や損傷がないか確認してください。	41～42、91～93
スイッチ	<ul style="list-style-type: none">適切に機能するか確認してください。	21～24
ライト	<ul style="list-style-type: none">適切に作動するか確認してください。	97～98
クーラント	<ul style="list-style-type: none">クーラントレベルを確認してください。クーラントの漏れを確認してください。必要に応じて、クーラントを補充してください。*	43、89～90

* 推奨液面レベルに達するのに十分な液量のみを追加してください。液体を過剰に補充しないでください。

乗車前点検

ドライブモード選択レバー および後退操作

▲注意

シフトする前に、ATVを停止し、スロットルレバーを完全に閉じた位置に戻して、エンジンが適切なアイドル速度に戻るようにしてください。そうしないと、トランスミッションが損傷する可能性があります。

坂道に駐車するときは、リアブレーキをかけ、ドライブモード選択レバーを所定の位置にシフトしてからエンジンを停止してください。シフトレバーをH、L、またはRの位置にして傾斜路に駐車すると、車輪に対する車両の重量により、ニュートラル(N)へのシフトが困難になります。坂道に駐車するときは、トランスミッションをシフトする前に必ずパーキングブレーキをかけてください。

シフト：ニュートラルからハイ、ハイからロー

1. ATVを完全に停止させ、スロットルレバーを閉位置に戻してください。
2. ブレーキをかけ、シフトガイドに沿って選択レバーを動かして希望のドライブモードにシフトしてください。

■ 注記：ドライブモード選択レバーが完全に所定の位置に移動していることを確認してください。レバーが適切に動かされていないと、トランスミッションが適切にかみ合わない場合があります。



ドライブモードセレクターレバー

L - ローレンジ、H - ハイレンジ

N - ニュートラル、R - リバースモード



潜在的な危険

操作前にATVの点検を行わない。ATVの適切な保守を行わない。

発生する可能性がある危険

人身傷害またはATVに機械的損傷を引き起こす事故。

危険を回避する方法

使用するたびにATVを点検し、安全な運転状況にあることを確認してください。

本オーナーズマニュアルに記載されている点検と保守の手順とスケジュールに常に従ってください。

乗車前点検

シフト：ニュートラルからリバース、リバースからパーキング

1. ATVを完全に停止させ、スロットルレバーを閉位置に戻してください。
2. ブレーキペダルを踏んでください。
3. シフトガイドに沿って選択レバーを希望のドライブモードに動かすことにより、ニュートラルからリバースへ、またはリバースからパーキングへ、またはその逆にシフトしてください。

■ **注記：**リバースモードの場合、多機能ディスプレイのリバースインジケータライトが点灯している必要があります。点灯しない場合は、**KYMC O** ATV正規販売店に点検または修理を依頼してください。

4. ATVを後退方向に動かす前に、後ろに人や障害物がないか確認してください。確認した後、リアブレーキペダルを放してください。
5. スロットルレバーを徐々に開き、ATVをバックさせながら、後方を監視し続けてください。

■ **注記：**後退操作は、前進操作とは大きく異なります。**ATV**の適切な速度と制御を維持するために、注意して小さなスロットルレバーの動きを使用してください。



潜在的な危険

後退運転時の不適切な操作。

発生する可能性がある危険

障害物や背後の人にぶつかって、重傷を負わせる可能性があります。

危険を回避する方法

リバースにシフト操作するときは、背後に障害物または人がいないことを確認してください。安全に行うため、ゆっくりと進んでください。

ドライブモード選択レバー

▲注意

シフトする前に、**ATV**を停止し、スロットルレバーを完全に閉じた位置に戻して、エンジン速度が指定されたアイドル速度に落ち着くようにしてください。そうしないと、トランスミッションが損傷する可能性があります。

▲

潜在的な危険

不適切に調整されたドライブモード選択レバーでATVを操作する。

発生する可能性がある危険

トランスミッションシフトの制御を失う可能性があり、事故につながる可能性があります。

危険を回避する方法

ドライブモード選択レバーを「N」の位置にするとニュートラルインジケータランプが点灯し、エンジンを始動する前に点灯することを確認してください。



エンジンを始動する前に、ドライブモード選択レバーの動作を確認してください。

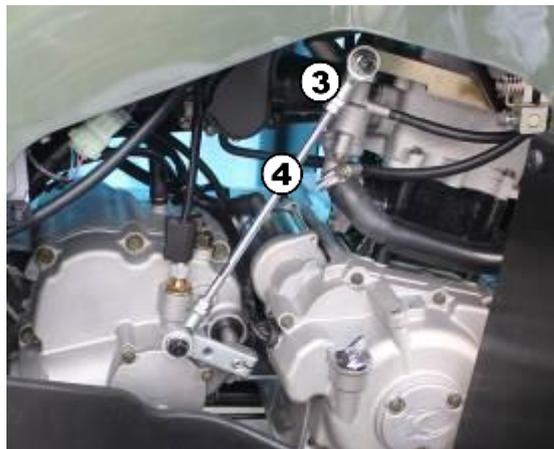
1. シフトレバーが、シフトガイドの「N」位置に移動することを確認してください。
2. イグニッションスイッチを「オン」に切り替え、ニュートラルインジケータランプが点灯することを確認してください。
3. ニュートラルインジケータランプが点灯しない場合は、ドライブモード選択レバーの調整を参照してください。

乗車前点検

シフトレバーの調整



1. イグニッションをオフにした状態（エンジンが冷えた状態）で、シート①を取り外し、左側のボディパネル②を取り外してください。
2. シフトロッド④のロックナット③を緩めてください。シフトレバーを使用するか、シフトロッドを回してトランスミッションをニュートラルにシフトしてください（ニュートラルランプが点灯します）。
3. ドライブモードセレクターレバーがシフトガイドの「N」位置になるまで、シフトロッド④を時計回りまたは反時計回りに回してください。その時点で、ロックナットをしっかりと締めてください。
4. ボディパネルとシートを再度取り付けてください。



フロントブレーキおよびリアブレーキ

1. ブレーキシステムを点検し、ブレーキフルードの漏れがないことを確認してください。
2. ブレーキレバーとペダルの動作を確認してください。これらはスムーズに動き、ブレーキをかけたときにしっくりとした感触があることが必要です。そうでない場合は、KYMCO ATV正規販売店にATVの点検を依頼してください。
3. 乗車を開始するときに低速でブレーキ操作をテストして、ブレーキが正しく機能していることを確認してください。ブレーキに適切な制動性能がない場合は、ブレーキの摩耗を点検してください。



潜在的な危険

適切に作動しないブレーキの付いたATVに乗車する。

発生する可能性がある危険

ブレーキが効かなくなって止まらなくなり、事故につながる恐れがあります。

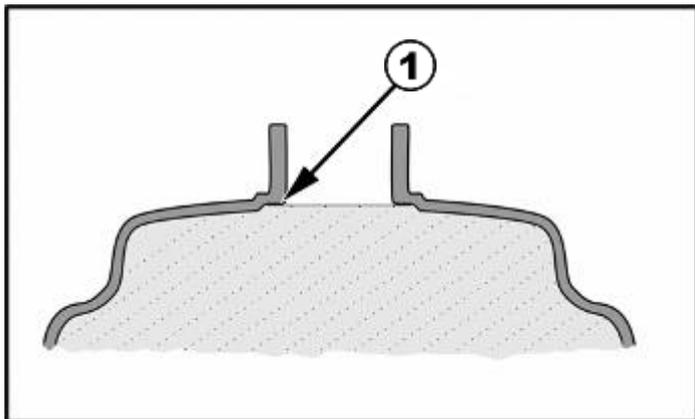
危険を回避する方法

すべての乗車開始時に必ずブレーキを確認してください。ブレーキに問題がある場合は、ATVに乗らないでください。本書に記載されている調整手順で問題を修正できない場合は、KYMCO ATV正規販売店にATVの点検を依頼してください。

乗車前点検

燃料

必要に応じて燃料タンクに給油し、予定している乗車に十分なガソリンがタンクにあることを確認してください。乗車する前に、燃料タンクやホースなどの燃料関連品に燃料漏れがないか確認してください。燃料漏れがある場合は、ATVに乗車する前にKYMCO ATV正規販売店に修理を依頼してください。



- 注記：燃料タンクに給油するときは、液面がフェューエルフィルターネック①の底部より高くないようにしてください。
- 注記：燃料タンクに汚れ、埃または水が入らないようにしてください。古いガソリンまたは不純なガソリンあるいはオイル/ガソリン混合物を使用しないでください。

燃料（続き）

推奨される燃料：

無鉛ガソリン

リサーチオクタン価： 91以上

燃料タンクの容量：

合計： 12.5 L (3.30 USガロン)

予備 1.8 L (0.48 USガロン)

KYMCO ATVのエンジンは、リサーチオクタン価が91以上（またはポンプオクタン価が86以上）の通常は無鉛ガソリンを使用するように設計されています。ノッキングやピンギングが発生した場合は、別のブランドのガソリンを使用するか、プレミアム無鉛燃料を使用してください。無鉛燃料は環境に優しく、スパークプラグの寿命を延ばし、保守費用を削減します。

エンジンおよびスパークプラグの沈殿物を減らし、排気システムの寿命を延ばしますので、無鉛燃料のみを使用してください。



潜在的な危険

補給時の不適切な取り扱い。

発生する可能性がある危険

燃料がこぼれると、火災の原因となり、重傷を負う可能性があります。

燃料は熱くなると膨張します。燃料タンクがいっぱいになると、エンジンの熱で燃料がこぼれる可能性があります。

危険を回避する方法

前のページで述べたように、燃料タンクをいっぱいにしないでください。特にエンジンや排気システムに燃料をこぼさないように注意してください。こぼれた燃料はすぐに拭いて乾かしてください。給油後、燃料キャップがしっかり閉まっていることを確認してください。

エンジンが作動し、非常に高温になった直後に給油しないでください。

燃料関連のトラブルシューティング

ATVが正常に始動または動作しない場合は、次の症状と考えられる原因を確認してください。点検しても問題が解決しない場合は、KYMCOATV正規販売店にご相談ください。

エンジンが始動しない、または加速が悪い：

- * 吸気漏れ
- * 燃料の汚染/劣化
- * 燃料ホースの挟み込みまたは詰まり
- * 燃料ポンプの故障

エンジンストール、始動困難、または粗いアイドルング：

- * 吸気漏れ
- * 燃料の汚染/劣化
- * アイドリング速度調整ミス
- * TPS/ISCサービス/リセットが必要です（KYMCO ATV正規販売店にお問い合わせください）

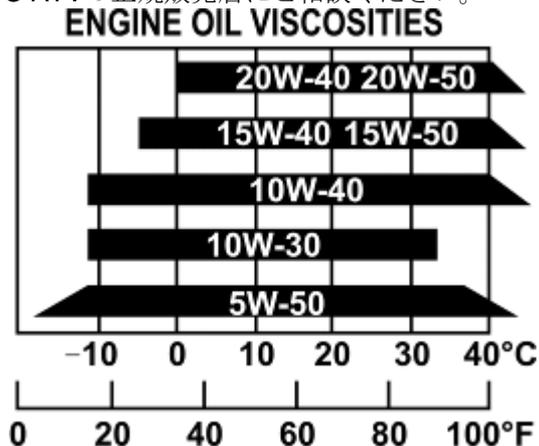
性能の低下（運転性）または燃料経済性の低下：

- * 燃料ホースの挟み込みまたは詰まり
- * 燃料噴射装置不良

乗車前点検

エンジンオイル

ATVで使用するための推奨エンジンオイルは、APIサービス分類の下でSE、SF、またはSGと評価されています。これらのオイルは、KYMCO ATVエンジンのすべての潤滑要件を満たしています。推奨されるオイル粘度はSAE10W-30です。周囲温度によって、オイルの正しい粘度が決まります。以下の粘度チャートを参照するか、KYMCO ATVの正規販売店にご相談ください。



エンジンオイルタイプ： **SAE 10W-30**
API SJタイプ

エンジンオイル容量：

オイル交換： **1.4 L**

総容量： **1.6 L**



注意

KYMCO推奨エンジンオイルの代わりに他のオイルを使用すると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。

エンジンオイルレベルの確認



- A. ATVを平らな地面に駐車してください
- B. チェックウィンドウからエンジンオイル量を確認してください。
- C. オイルレベルは、最大レベル（H）と最小レベル（L）の間にある必要があります。レベルが低すぎる場合は、適切なレベルにオイルを追加してください。

▲注意

エンジンオイルを過剰に補充しないでください。エンジンを過充填すると、オイル漏れやエアフィルターエレメントの汚染を引き起こす可能性があります。オイルレベルが「L」マークより上であるが「H」マークより高くないことを常に確認してください。

推奨されるリアドライブの潤滑

KYMCO ATV（該当する場合はフロントディファレンシャルおよびリアドライブ）に推奨される潤滑剤は、SAE承認の80W-90 ハイポイドギアオイルです。

▲注意

KYMCO推奨の潤滑油の代わりに他の潤滑油を使用すると、フロントディファレンシャル/リアドライブに重大な損傷を与える可能性があります。

乗車前点検

タイヤ



潜在的な危険

不適切なタイヤ、または不適切または不均一なタイヤ空気圧でATVを操作する。

発生する可能性がある危険

ATVで不適切なタイヤを使用したり、不適切または不均一なタイヤ空気圧でATVを操作すると、制御が失われ、事故のリスクが高まる可能性があります。

危険を回避する方法

1) 下記のタイヤは、ATVでの使用がKYMCOによって承認されています。本モデルの場合、他のタイヤの組合せは推奨されません。

MXU 300	サイズ	タイプ
フロント	22 X 7 - 10	チューブレス
リア	22 X 10 - 10	チューブレス

2) タイヤは、反対のページの表に記載されている推奨圧力に設定してください。



MXU 300	標準空気圧	最小空気圧	最大空気圧
フロント	4.0 psi (0.28 kgf/cm ² , 27.5 kpa)	3.5 psi (0.25 kgf/cm ² , 25 kpa)	4.5 psi (0.32 kgf/cm ² , 32 kpa)
リア	4.0 psi (0.28 kgf/cm ² , 27.5 kpa)	3.5 psi (0.25 kgf/cm ² , 25 kpa)	4.5 psi (0.32 kgf/cm ² , 32 kpa)

タイヤが冷えている時に、タイヤ圧力を確認かつ調整してください。

タイヤの空気圧は、ATVの両側で等しくなるようにしてください。

3) タイヤの空気圧が指定された最小量を下回ると、過酷な走行条件下でタイヤがリムから外れる可能性があります。タイヤの空気圧が上記の表に記載されている最小値を下回らないようにしてください。

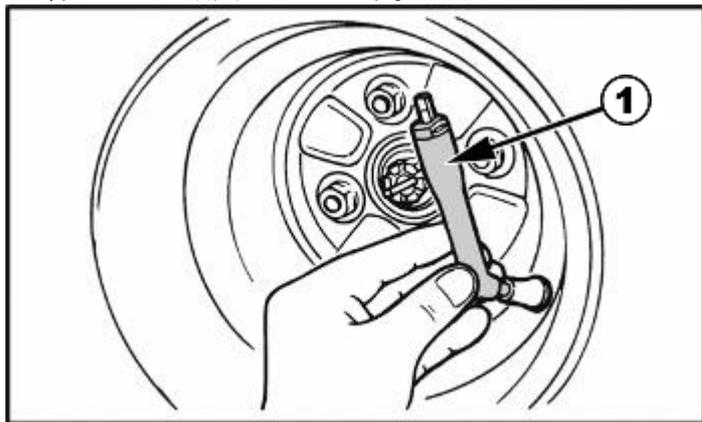
4) タイヤの空気圧が高くなると、タイヤが破裂する可能性があります。タイヤを非常にゆっくりと慎重に膨らませてください。急速な膨張はタイヤの破裂を引き起こす可能性があります。

乗車前点検

タイヤ空気圧の測定：

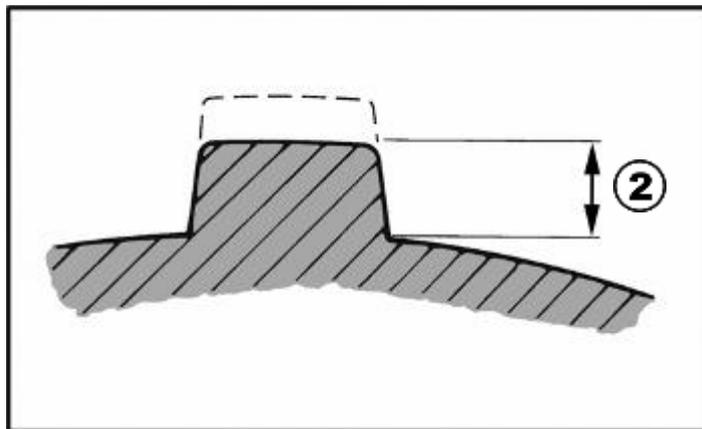
付属の低圧タイヤゲージ（工具キット内付属品）を使用してください。

- 注記：低圧タイヤゲージ①がATVに標準装備されています。このゲージは、ATVタイヤで使用される低圧を適切に測定できるため、自動車タイプのタイヤ空気圧ゲージとは異なります。タイヤ空気圧を検査するときは、2回測定し、2回目の測定値を使用して、タイヤ空気圧が適切か調整が必要かを判断してください。ゲージ内のほこり、汚れ、湿気は、最初の測定の精度に影響を与える可能性があります。



タイヤの摩耗限界：

タイヤの溝の深さ②が摩耗により4.0 mm (0.16インチ) に減少した場合は、タイヤを交換してください。



- 注記：ATVの適切な取り扱いを維持するには、タイヤをフロントペア、リアペア、または4つすべてのタイヤとして同時に交換してください。

乗車前点検

クーラント

エンジンが冷えているときは、リザーバータンク①のクーラントレベルを確認してください（レベルはエンジン温度によって異なります）。

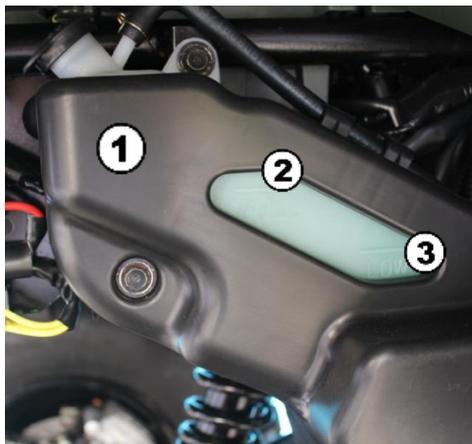
タンクの「FULL」②と「LOW」③の間にある場合、クーラントレベルは十分です。

クーラントレベルが「LOW」レベルを下回っている場合は、蒸留水または軟水の水道水を追加してレベルを「FULL」レベルに上げてください。

保守スケジュールに従ってクーラントを交換してください。

▲注意

硬水または塩水はエンジンに有害です。エンジンや冷却システムの損傷を防ぐため、蒸留水または軟水の水道水を使用してください。



潜在的な危険

エンジンがまだ熱いとき、ラジエーターキャップを取り外す。

発生する可能性がある危険

高圧で吹出す熱い液体および蒸気により、火傷を負う可能性があります。

危険を回避する方法

エンジンが冷えるのを待ってから、ラジエーターキャップを取り外してください。常にキャップの上に厚い布を使用してください。キャップを完全に取り外す前に、残っている圧力を逃がしてください。

冷却システムの修理が必要な場合は、KYMCO ATV正規販売店にお問い合わせください。

スパークプラグの検査

プラグがオイルにまみれている場合、カーボンが蓄積している場合、~~は、できればサンドブラスト装置でプラグを掃除してから、研磨粒子をすべて取り除いてください。プラグは、他の適切な工具にも使用することができます。絶縁体が割れている場合は、プラグを交換してください。標準プラグを使用してください。~~

乗車前点検

スロットルレバー

スロットルレバーが正しく作動することを確認してください。スムーズに開き、リリース時にアイドル位置に戻る必要があります。適切な操作のために必要に応じて修理してください。

継手および留め具

乗車前に、シャーシの継手および留め具の締め具合を常に確認してください。正しい締め付けトルクについては、ATV を KYMCO ATV 正規販売店に持って行くか、サービスマニュアルを参照してください。

ライト

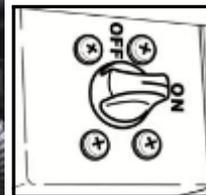
ヘッドライトとテールライトをチェックして、点灯することを確認してください。適切な操作のために必要に応じて修理してください。

スイッチ

ヘッドライトスイッチ、エンジン停止スイッチ、他のスイッチの作動を確認してください。適切な操作のために必要に応じて修理してください。

バッテリーカットオフスイッチ

バッテリーカットオフスイッチは車両の右側にあります。



バッテリーカットオフスイッチを使用すると、車両のすべての電気回路をバッテリーから切断することができます。その後、イグニッションスイッチを介して電気回路を再びオンにすることはできません。

乗車前点検

ATVの操作 - 冷間時のエンジンの始動



潜在的な危険

寒い天候下でのスロットルケーブルの凍結。

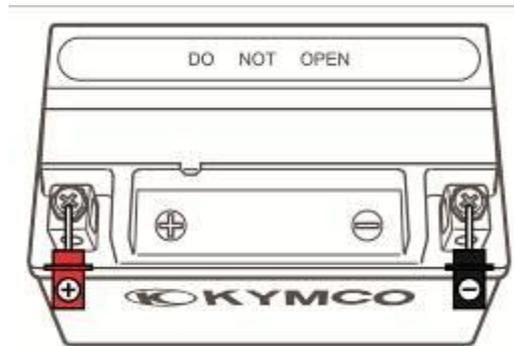
発生する可能性がある危険

ATVを制御できない場合があります、事故や衝突につながる可能性があります。

危険を回避する方法

寒い天候で乗るときは、ATVに乗る前に、すべての制御ケーブルがスムーズに機能することを常に確認してください。

- 注記：周囲温度が -18°C (0°F) 未満の場合は、バッテリー電圧を確認してください。電圧が 12.5V DC 未満の場合、エンジンが電氣的に始動しない場合があります。



冷間時のエンジンの始動

1. パーキングブレーキをかけ、ステアリングのロックを解除してください（ステアリングロックキーを外してください）。
 2. イグニッションスイッチを「ON」に回してください。
 3. ドライブモデル選択レバーを**N**（ニュートラル）にシフトしてください
 4. ブレーキをかけ、スターターボタンを押してエンジンを始動してください。
- 注記：エンジンが始動しない場合は、スターターボタンを放してから、もう一度スターターボタンを押してください。バッテリーのエネルギーを節約するために、各始動試行はできるだけ短くしてください。各始動試行中に**10秒**を超えてエンジンをクランキングしないでください。
 - 注記：バッテリーが始動試行により放電した場合は、バッテリーを完全に再充電し、電圧に問題が無いことを確認してから、**ATV**を再始動してください。
 - 注記：**ATV**が始動しない場合は、スパークプラグの状態を確認してください。バッテリーが弱い場合、寒い天候でより早く消耗し、イグニッションスパークが弱くなる可能性があります。これにより、ガソ

リンがスパークプラグを汚す可能性があります。その場合は、交換してください。ガソリンで汚れたスパークプラグを交換する必要がある場合は、バッテリーを充電してください。



ATVの電子燃料噴射システムと配線への損傷を避けるために、イグニッションスイッチが「オン」の位置にあるときにバッテリーワイヤーを取り外したり取り付けたりしないでください。

乗車前点検

- 注記：ATVの修理を行う必要があり、寒い天候で始動する場合は、湿気（氷や雪を含む）がエンジン、スパークプラグの穴、右側のエンジンカバー（ベルトケース）、またはバッテリーコンパートメントに入らないように注意してください。

▲注意

エンジンを初めて操作する前に、本マニュアルの「エンジンの慣らし運転」セクションを確認してください。

エンジンのウォームアップ時間は、寒い時期には長くなります。エンジンが冷えた状態で直ぐに運転を開始しないでください。適切なウォームアップに時間をかけてください。

温間時のエンジンの始動

- 注記：このマニュアルの「冷間時のエンジンの始動」セクションに記載されている注記、注意、および警告を参照してください。

1. パーキングブレーキをかけてください。
2. イグニッションスイッチを「ON」に回してください。
3. ドライブモデル選択レバーを**N**（ニュートラル）位置にシフトしてください。
4. スロットルレバーを少し開き、スターターボタンを押してエンジンを始動してください。

▲注意

エンジンを初めて操作する前に、本マニュアルの「エンジンの慣らし運転」セクションを確認してください。

エンジンの寿命を最大限に延ばすために、乗車する前に必ずエンジンの暖気運転を行ってください。エンジンが冷えた状態で、激しく加速しないでください。約**30秒**のウォームアップ時間後にスロットルレバーを押したときに、エンジン速度がスムーズに上昇することを確認してください。

緊急ジャンプ始動

バッテリーが弱くなり、ATVが始動しない場合は、別の車両のバッテリーでエンジンをジャンプ始動することができます。

▲注意

両方の車両に12ボルトの負の接地電気システムが必要です。他の車両のバッテリーは、同様の電気容量であることが必要です。自動車のエンジンが作動していない場合でも、自動車のバッテリーを使用しないでください。バッテリーの容量が大きいと、ATVの電気システムが損傷する可能性があります。

1. シートを取り外し、各車両のバッテリーのプラス[+]端子とマイナス[-]端子を見つけてください。
2. ジャンパーケーブルが損傷していないこと、ワイヤーの絶縁が欠落していないことを確認してください。損傷したジャンパーケーブルを使用すると、感電したり、車両が損傷したりする可能性があります。ケーブルを接続する前に、ジャンパーケーブルが各バッテリーのプラス[+]端子を接続し、マイナス[-]端子もケーブルを介して接続されることに注意してください。プラスの[+]ケーブル端子または端子をマイナスの[-]ケーブル端子または端子に誤って接続しないように細心の注意を払ってください。
3. 赤いプラス[+]ジャンパーケーブルの端子を、バッテリーが弱い車両のプラス[+]端子に慎重に接続してください。
4. ジャンパーケーブルの端子が良好なバッテリーで車両のどの部分にも触れないように細心の注意を払って、もう一方のプラス[+]ジャンパーケーブルの端子を良好なバッテリーのプラス[+]端子に接続してください。
5. 次に、黒いマイナス[-]ジャンパーケーブルの端子を正常なバッテリーのマイナス[-]端子に接続してください。ジャンパーケーブルのもう一方のマイナス端子が何かに触れないようにしてください。ジャンパーケーブルのマイナス端子は弱いバッテリーに接続しないでください。バッテリーが弱い車両のエンジンまたはシャーシの塗装されていない金属部分に接続してください。
6. ジャンパーケーブルを取り付けた状態で、良好なバッテリーで車両を始動し、エンジンを数分間作動させてください。
7. バッテリーが弱い車両を始動してみてください。数回試しても起動しない場合は、バッテリーの交換が必要か、車両に別の問題がある可能性があります。
8. 電氣的短絡を防ぐために、ケーブルを逆の順序で慎重に取り外してください。プラスの[+]ジャンパーケーブルの端子がシャーシの金属部分に触れないように常に細心の注意を払ってください。

乗車前点検

エンジンの慣らし運転

ATVの寿命の中で最も重要な期間は、操作の最初の20時間です。一般に「慣らし期間」と呼ばれ、この期間中にATVをどのように使用するかは、信頼性と寿命に影響します。

これらの理由から、以下の資料を注意深く確認してください。エンジンは新品ですので、最初の20時間は過度の負荷をかけないでください。この期間中、エンジンのさまざまな部品が摩耗し、適切な動作公差まで研磨されます。

最初の20時間は、長時間のフルスロットル操作、またはエンジンが過度に加熱される可能性のある状態を回避してください。ただし、負荷がかかった状態での瞬間的な（最大2～3秒）フルスロットル操作は、エンジンに害を及ぼすことはありません。

各フルスロットル加速シーケンスの後には、エンジンが余分な熱を放出できるように、より低いエンジン速度（RPM）でクルージングすることにより、エンジンの実質的な休止期間を設けるようにしてください。異常な性能、エンジン音、過度の余熱に気付いた場合は、KYMCO ATV正規販売店にご相談ください。

1. 0～10時間の運転：

ハーフスロットル以上の連続運転は避けてください。1時間の運転後、5～10分の冷却期間を考慮してください。ATVのエンジンとトレイルの速度を時々変えてください。エンジンを全開で運転しないでください。

2. 10～20時間の運転：

3/4スロットル以上の長時間運転は避けてください。トランスミッションギアを介してエンジンを自由に回転させることができますが、常にフルスロットルを使用しないでください。

3. 慣らし運転後：

フルスロットル操作は避けてください。エンジンとトレイルの速度を時々変えてください。

▲注意

推奨される慣らし手順に従ってください。不適切な慣らし運転手順によるATVまたはそのエンジンの損傷は欠陥ではありません。したがって、関連する修理費用はKYMCO保証修理の対象にはなりません。

パーキングブレーキ

リアパーキングブレーキをかけるには、レバーを位置 (A) に動かしてください。

駐車するとき、およびエンジンを始動する前にのみ、パーキングブレーキをかけてください。

リアパーキングブレーキをロック解除するには、レバーを位置 (B) に動かしてください。

(A)



(B)



乗車前点検

パーキングブレーキ 坂の上での駐車



潜在的な危険

坂または他の傾斜の上での駐車。

発生する可能性がある危険

ATVが制御を失い、事故の可能性が増加します。

危険を回避する方法

斜面やその他の坂道での駐車は避けてください。傾斜地に駐車する必要がある場合は、傾斜面を横切るように機械を置き、パーキングブレーキをかけ、前輪と後輪を岩などでブロックしてください。

急勾配で簡単に登ることができない坂道には、ATVを駐車しないでください。

1. ブレーキをかけることにより、ATVを停止させてください。
2. エンジンを停止してください。
3. ブレーキをかけた状態で、ドライブ選択レバーをパーキング位置にしてください。
4. パーキングブレーキをかけてください。



積載

慣らし運転終了後、ATVは貨物を運ぶかトレーラーを牽引することができます。これらの作業を安全に行うには、車両の仕様を理解し、適切な判断を使用する必要があります。次の推奨事項と仕様に留意してください。

- 指定された重量制限を超えないようにしてください。
過負荷のATVは不安定になる可能性があります。

耐荷重

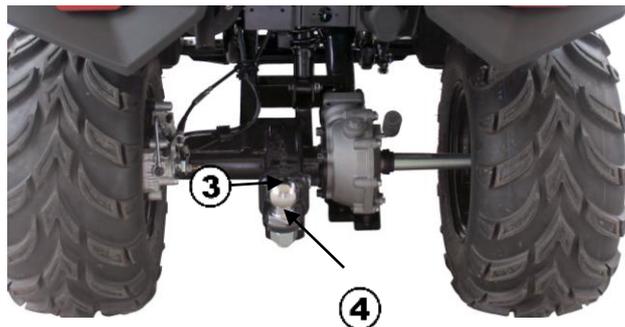
フロントキャリア①:	20.0 kg (44 ポンド)
リアキャリア②:	30.0 kg (66 ポンド)
トレーラー	
最大牽引能力:	227 kg (500 ポンド)
最大タンク重量:	16.0 kg (35 ポンド)



トレーラーを牽引するときは、推奨されるタンク重量を超えないようにしてください。

トレーラーを牽引するようにATVを設定する場合は、トレーラーと一致し、トレーラーヒッチフランジ④と適切に嵌合するトレーラーヒッチボール③を入手してください。

適切な機器と付属品を入手するためのサポートについては、KYMCOATV正規販売店にお問い合わせください。



- 貨物は、可能な限り車両の中心に近いキャリアに積んでください。フロントキャリアの後部とリアキャリアの前部に貨物を置いてください。どちらかのキャリアの中央に荷物を置いてください。

乗車前点検

- 貨物をキャリアにしっかりと固定してください。荷物が移動しないことを確認してください。トレーラーの荷物が動き回らないようにしてください。
- **ATV**またはトレーラーの荷物が移動すると、事故を引き起こす可能性があります。
- 荷物が**ATV**の制御や進行を確認する能力を妨げないことを確認してください。
- 荷物が無い場合よりもゆっくりと走行してください。運搬または牽引する重量が多いほど、ゆっくりと走行するようにしてください。
- 制動距離を長くしてください。他の車両に接近して走行しないようにしてください。荷物が多いと、停止するのにより多くの距離と時間を必要とします。
- 非常に遅い速度でない限り、急カーブを曲がるのは避けてください。
- 丘や起伏の多い地形は避けてください。走行車線を慎重に選んでください。荷物を追加すると、**ATV**の安定性と取り扱いに影響します。
- キャリアに乗客を乗せないでください。



潜在的な危険

ATVの過負荷、または貨物の不適切な運搬または牽引。

発生する可能性がある危険

貨物の積載により、ATVの取り扱いが変化し、事故につながる可能性があります。

危険を回避する方法

ATVの指定された積載容量を超えないようにしてください。

貨物を適切に分配し、キャリアまたはトレーラーにしっかりと取り付けてください。

貨物を運ぶときやトレーラーを牽引するときは、速度を落としてください。制動のため、より長い距離が必要なことを考慮してください。

アクセサリ

アクセサリは、ATVの取り扱いと制御能力に影響を与える可能性があります。アクセサリを検討するとき、またはアクセサリが取り付けられたATVを操作するときは、次の推奨事項に留意してください。

- **ATV用に特別に設計されたアクセサリのみを選択してください。**KYMC O ATV正規販売店では、さまざまな純正のKYMC O アクセサリを取り扱っています。他のアクセサリも利用できる場合がありますが、KYMC O がこれらの非KYMC O アクセサリの安全性と適合性をテストおよび検証することはできません。常にKYMC O アクセサリまたは設計と品質が同等のものを選択してください。
- アクセサリを動かないようにしっかりと取り付けるようにしてください。乗車中に位置を変えたり、ATVから外れたりする可能性のあるアクセサリは、ATVを制御する能力に影響を与える可能性があります。

- **ATVを制御する能力を妨げる可能性のある場所にアクセサリを取り付けしないでください。**例としては、ハンドルバーに取り付けられた重いまたはかさばる物体がステアリングを困難にする可能性がある場合や、フロントガラスが前方のトレイルの視界を制限する可能性がある場合があります（ただし、これらに限定されません）。
- アクセサリを装着したATVに乗るときは特に注意してください。ATVは、アクセサリが取り付けられていない場合とは取り扱いが異なります。

ATVに乗車する 安全警告

次のページおよび本マニュアル全体の警告を、ATV を操作する前に、完全に読んで理解するようにしてください。一部の情報は ATV の乗車に直接関連していますが、その他の情報は ATV の機械的な手入れと操作に関連しています。ATV がお客様と他者に安全かつ信頼できるサービスを提供するために、お客様は良心的な ATV の所有者であることが必要です。

ライダートレーニングもお客様の安全に不可欠です。経験豊富な ATV ライダーでさえ、正式なライダートレーニングを受けることが安全に役立ちます。~~お住まいの地域で開催されているライダーの安全、操作トレーニング、およびコースに関する情報を入手するには、www.atvsafety.org にアクセスしてください。~~



潜在的な危険

ライダートレーニングを受講したり、操作に慣れることなくATVを操作する。

発生する可能性がある危険

ATVの操作には、他の車両とは異なるスキルと知識が必要です。適切なトレーニングや理解がないと、経験不足により事故が発生し、怪我や死亡事故につながる可能性があります。運転者がさまざまな状況やさまざまな種類の地形でATVを適切に操作する方法を知らない場合も、事故のリスクが高まります。

危険を回避する方法

認定されたATVライダーの安全コースを修了してください。トレーニング後、最初に低速で操作して、ATVのスキルと習熟度を高めてください。ATVに乗車するには、一定期間の練習を通じて習得したスキルが必要です。ATVの取り扱いと性能特性に完全に精通するまでは、ATVを最大の性能で操作しようとしないでください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車前



潜在的な危険

適切な教育を受けることなく本ATVを操作する。

発生する可能性がある危険

さまざまな状況やさまざまな種類の地形でATVを適切に操作する方法がわからない場合、事故のリスクが大幅に高まります。

危険を回避する方法

初心者でも経験豊富なATVライダーでも、認定トレーニングコースを修了するようにしてください。その後、本オーナーズマニュアルに記載されている操作テクニックと併せて、コースで学んだスキルを定期的に練習するようにしてください。



潜在的な危険

16歳未満の誰もが本ATVを操作できるようにする。

発生する可能性がある危険

子供がATVを使用すると、子供が重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。16歳未満の子供は、ATVを安全に操作するために必要なスキル、能力、または判断力が不足している可能性があります。重大な事故に巻き込まれる可能性があります。

危険を回避する方法

16歳未満の子供が、本ATVを絶対に操作しないようにしてください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車前



潜在的な危険

本ATVを承認されたオートバイ用ヘルメット、目を保護する装備、防護服を着用せずに運転する。

発生する可能性がある危険

承認されたヘルメットを着用せずにATVを操作すると、事故が発生した場合に深刻な頭部外傷または死亡の可能性が高くなります。

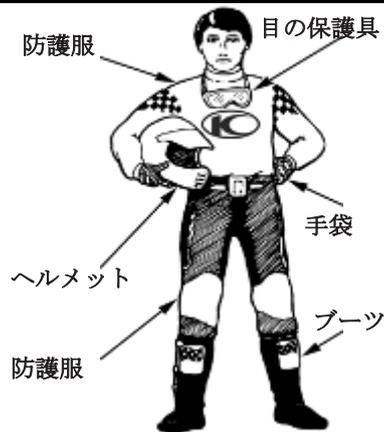
目の保護なしでATVを操作すると、事故につながる可能性があり、事故の際に視力を失うなど、重傷を負う可能性が高くなります。

防護服なしでATVを操作すると、事故が発生した場合に重傷を負う可能性が高くなります。

危険を回避する方法

常に適切にフィットする承認済みのヘルメットを着用してください。また、以下を着用してください。

- * 目の保護具（ゴーグルまたはヘルメットのフェイスシールド）
- * 手袋
- * ブーツ
- * 長袖シャツ、乗馬用ジャージまたは長袖ジャケット
- * ロングレグパンツまたは乗馬用パンツ



潜在的な危険

アルコールや薬物の摂取後または摂取中にATVを操作する。

発生する可能性がある危険

アルコールや薬物の摂取は、判断に深刻な影響を与える可能性があります。アルコールや薬物を摂取すると、反応が遅くなり、バランスと知覚に影響を及ぼします。これらの障害のある状態でATVを操作すると、事故につながる可能性があります。

危険を回避する方法

ATVの運転前、運転中は絶対にアルコールや薬物を摂取しないでください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車前



潜在的な危険

閉ざされた場所でエンジンを始動または作動させる。

発生する可能性がある危険

排気ガスは有毒であり、意識を失ったり、短時間で死亡する可能性があります。

危険を回避する方法

常に十分な換気のある領域で、ATVを作動させてください。



潜在的な危険

ガソリンの不適切な取り扱い（給油中、ただしこれに限定されません）。

発生する可能性がある危険

ガソリンは発火する可能性があります、火傷する可能性があります。

危険を回避する方法

ATVに燃料を補給するときは、必ずエンジンをオフにしてください。エンジンがまだ非常に高温になっている可能性があるため、ATVを操作した直後に給油しないでください。給油時に排気パイプやマフラーにガソリンをこぼさないでください。喫煙中、または火花、直火、またはその他の発火源（ストーブ、衣類乾燥機、給湯器の種火など）の近くでは、絶対に給油しないでください。



潜在的な危険

不適切なガソリンの取り扱い。

発生する可能性がある危険

ガソリンは有毒な化学物質であり、怪我を引き起こす可能性があります。

危険を回避する方法

ガソリンを飲み込んだり、大量のガソリン蒸気を吸い込んだり、目に入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。ガソリンが皮膚にこぼれた場合は、患部を石鹸と水で洗ってください。ガソリンが衣服にこぼれた場合は、衣服を着替えて、体の患部を洗ってください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車前



潜在的な危険

ATVを操作する前に点検しなかった。ATVを適切に保守しなかった。

発生する可能性がある危険

ATVを適切な動作状態に維持しないと、事故や機器の損傷の可能性が高まります。

危険を回避する方法

使用するたびにATVを検査し、安全な動作状況にあることを確認してください。本オーナーズマニュアルの点検と保守のスケジュールと手順に常に従ってください。各乗車の前に、乗車前の徹底的な点検を行ってください。



潜在的な危険

不適切なタイヤまたは不適切または不均一なタイヤ空気圧のタイヤでATVを操作する。

発生する可能性がある危険

ATVで不適切なタイヤを使用したり、不適切または不均一なタイヤの空気圧でATVに乗車したりすると、ATVの制御が失われ、事故の可能性が高くなります。

危険を回避する方法

本オーナーズマニュアルで指定されている適切なタイヤサイズとタイプを常に使用してください。本オーナーズマニュアルに記載されているように、ATVのタイヤは常に適切なタイヤ空気圧を維持するようにしてください。



潜在的な危険

不適切な変更を加えたATVを操作する。

発生する可能性がある危険

アクセサリの不適切な取り付けやATVの改造により、取り扱いが変更され、場合によっては事故につながる可能性があります。

危険を回避する方法

ATVを改造したり、ATV用に特別に設計されていないアクセサリを取り付けたりしないでください。このATVに追加されるすべての部品とアクセサリは、ATVで使用するために設計された純正のKYMCO ATVコンポーネントである必要があり、取り付け手順に従って、取り付けるようにしてください。ツイストグリップタイプのスロットルは絶対に取り付けしないでください。ATVのパーソナライズについて質問がある場合は、KYMCO ATVの正規販売店にご相談ください。



重傷または死亡につながる可能性
がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車前



潜在的な危険

不適切なアクセサリが取り付けられた状態でATVを操作する。

発生する可能性がある危険

不適切なアクセサリを使用すると、ATVの動作に影響を及ぼし、ATVの制御を失い、事故の可能性が高くなる可能性があります。

危険を回避する方法

ATVにKYMCO以外のアクセサリを取り付けたり使用したりしないでください。詳細については、本オーナーズマニュアルのアクセサリのセクションを参照するか、KYMCO ATV正規販売店に連絡して支援を求めてください



潜在的な危険

ATVの過負荷、荷物の運搬、貨物の不適切な牽引。

発生する可能性がある危険

不適切な積載や牽引は、ATVの取り扱い特性に変化をもたらし、事故につながる可能性があります。

危険を回避する方法

ATVに記載されている積載容量を超えないようにしてください。貨物を適切に分散させ、しっかりと固定するようにしてください。ATVの制御を支援する場合は、貨物を運搬するときやトレーラーを牽引するときに速度を落とし、ブレーキをかける距離を長くしてください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

ATVを過度の速度で操作する。

発生する可能性がある危険

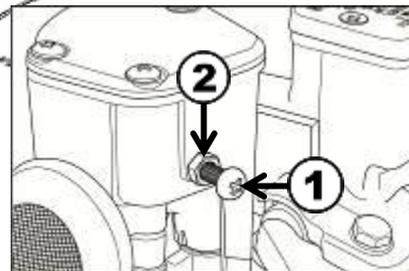
ATVを過度の速度で操作すると、車両の制御を失う可能性が高くなり、事故につながる可能性があります。

危険を回避する方法

常に、地形、視界、操作条件、および経験に適した速度でATVに乗車してください。

注記：

ATVにはスピードリミッターが装備されており、スロットルレバーの開きを制限することでエンジンと車速を下げるすることができます（アジャスターネジ①を調整し、スロットルレバーハウジングのロックナット②で固定してください）。ATVのスピードリミッター機能を設定してください。



▲ WARNING

POTENTIAL HAZARD

Attempting wheelies, jumps, and other stunts when riding your ATV.

WHAT CAN HAPPEN

Attempting wheelies, jumps, and other stunts increases the chance of an accident, including a rollover, when riding your ATV.

HOW TO AVOID THIS HAZARD

Never attempt stunts such as wheelies or jumps. Do not try to show off when riding your ATV.



▲ WARNING

重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

本ATVに乗客を乗せる。

発生する可能性がある危険

乗客を乗せると、このATVのバランスを取り制御する能力が大幅に低下します。これは事故を引き起こし、お客様や乗客に怪我や死をもたらす可能性があります。

危険を回避する方法

乗客を乗せないようにしてください。本ATVのロングシートは、操作中に必要なに応じて位置を移動できるように設計されています。乗客を乗せるためのものではありません。



潜在的な危険

カーゴラックで乗客を運ぶ。

発生する可能性がある危険

カーゴラックに乗客を乗せると、このATVのバランスを取り制御する能力が大幅に低下します。これは事故を引き起こし、お客様や乗客に怪我や死をもたらす可能性があります。

危険を回避する方法

カーゴラックに乗客を乗せないようにしてください。カーゴラックには、貨物を運ぶためのATVが付属しています。カーゴラックは、乗客を乗せるためのものではありません。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

本ATVを公道、道路、または高速道路で動作させる。

発生する可能性がある危険

他の車両と衝突する可能性があります。

危険を回避する方法

ATVは、舗装の道路や砂利道であっても、公道、道路、高速道路では絶対に動作させないでください。多くの州では、公道、道路、または高速道路でATVを操作することは違法です。



潜在的な危険

舗装された路面でATVを操作する。

発生する可能性がある危険

ATVのタイヤは、舗装での使用ではなく、オフロードでの使用のみを目的として設計されています。舗装された表面は、ATVの取り扱いに深刻な影響を及ぼし、ATVを制御できなくなる可能性があります。

危険を回避する方法

歩道、私道、駐車場、道路などの舗装された路面でATVを操作しないでください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

他のオフロード車からは見えない可能性のある場所でATVを操作する。

発生する可能性がある危険

衝突する可能性があります。怪我をしたり、死亡したりする可能性があります。

危険を回避する方法

常にATVに注意フラグを取り付けて、視認性を向上させてください。他の車両に注意してください。注意フラグを購入または取り付けるには、KYMCO ATV正規販売店にお問い合わせください。



潜在的な危険

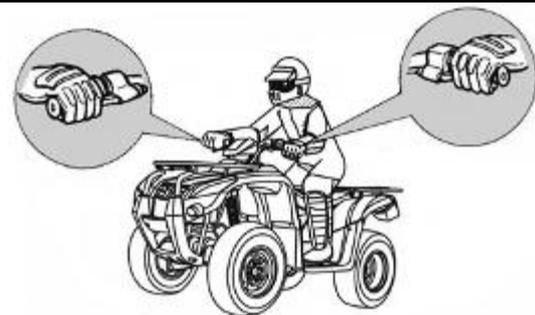
乗車中にハンドルバーから手を離したり、ATVのフットレストから足を離したりする。

発生する可能性がある危険

手や足を片方でも外すと、ATVを制御する能力が低下したり、バランスが崩れて、ATVから落下する可能性があります。フットレストから足を離すと、足や脚が車輪に接触し、怪我や事故の原因となることがあります。

危険を回避する方法

乗車中は、常に両手をハンドルバーに、両足をATVのフットレストに置いてください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

不慣れな地形でATVに乗車するときに、特に注意を払わない。

発生する可能性がある危険

不慣れな地形で乗車するとき、反応するのに十分な時間がない状態で、隠れた岩、隆起、または穴に出くわす可能性があります。これにより、ATVが転倒したり、ATVの制御が失われたりする可能性があります。

危険を回避する方法

特に不慣れな地形でATVに乗車するときは、ゆっくりと進み、注意してください。ATVに乗車するときは、地形の変化に常に注意してください。



潜在的な危険

起伏の多い、滑りやすい、または緩い地形でATVに乗車するときに、特に注意を払わない。

発生する可能性がある危険

起伏の多い、滑りやすい、または緩い地形でATVに乗車すると、トラクションまたは制御が失われる可能性があり、横転などの事故につながる可能性があります。傾斜地や荒地を走行する際に転倒する危険性があります。

危険を回避する方法

これらの表面でATVを制御するために必要なスキルを習得して練習するまで、起伏の多い、滑りやすい、または緩い地形でATVに乗車しないでください。起伏の多い、滑りやすい、または緩い地形を乗り越えるときは、常に特に注意してください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

ATVを不適切に方向転換させる。

発生する可能性がある危険

ATVが制御不能になり、衝突または横転する可能性があります。

危険を回避する方法

本オーナーズマニュアルに記載されているように、ATVを方向転換させるための適切な手順に常に従ってください。速い速度で曲がる前に、遅い速度で曲がる練習をしてください。ATVを過度の速度で方向転換させないでください。



潜在的な危険

急な丘でATVを操作する。

発生する可能性がある危険

ATVは、平坦な表面や小さな丘よりも急な丘で簡単に転倒する可能性があります。

危険を回避する方法

ATVや能力に対して急すぎる丘でATVを操作しないでください。大きな丘で乗車する前に、小さな丘で乗車する練習をしてください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。



潜在的な危険

ATVで不適切に丘を登る。

発生する可能性がある危険

丘を不適切に登ると、ATVの制御が失われたり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を回避する方法

本オーナーズマニュアルに記載されているように、丘に登るための適切な手順に常に従ってください。登坂を開始する前に、よく土地を確認してください。

滑りやすい、または、ぬかるんだ面がある場合は、坂を上らないでください。ATVに乗って丘を登るときは、体重を前にずらしてください。ATVが後方にひっくり返る可能性があるため、スロットルを急に開いたり、急にギアを変更したりしないでください。障害物、急降下、または他の車両や人が丘の反対側にいる可能性があるため、高速で丘の頂上を越えないでください。

25° よりも急な坂を上り下りするする場合、**ATV**に乗車しないようにしてください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

ATVで不適切に丘を下る。

発生する可能性がある危険

丘を不適切に下ると、ATVの制御が失われたり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を回避する方法

本オーナーズマニュアルに記載されているように、丘を下るための適切な手順に常に従ってください。

ATVの丘を下り始める前に、常に地形を注意深く確認してください。体重を後ろにずらしてください。

高速で下り坂に行くことは絶対にしないでください。

ATVが片側に急に傾くような角度で丘を下るのは避けてください。可能な限り、丘をまっすぐ下りてください。

OK



潜在的な危険

ATVに乗車しているときに、不適切に丘を横断したり、丘で方向転換したりする。

発生する可能性がある危険

丘を不適切に横断したり、丘で方向転換したりすると、ATVの制御が失われたり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を回避する方法

本オーナーズマニュアルに記載されている方向転換技術を習得するまでは、丘の上でATVを方向転換させないでください。

最初に平地でこれらの操作を練習してください。

丘の上でATVを方向転換するときは、十分に注意してください。

可能な場合、急斜面を横切ることは避けてください。

ATVで丘の側面を横断する場合：

- * このオーナーズマニュアルに記載されている適切な手順を常に実行してください。
- * 滑りやすいまたは緩い表面のある丘は避けてください。
- * 体重をATVの上り坂側にシフトさせてください。

OK



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

ATVで丘を登っているときに、ストール、後方への移動、または不適切な降車を行う。

発生する可能性がある危険

ストール、後方への移動、または不適切な降車は、ATVの転倒につながる可能性があります。

危険を回避する方法

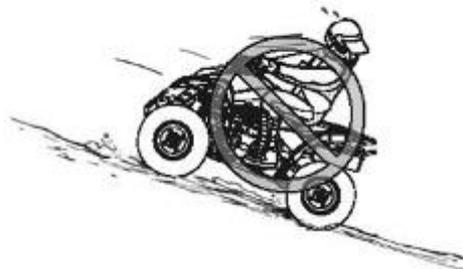
適切なトランスミッションギアを選択し、登るときに一定の速度を維持してください。

前進速度を喪失した場合：

- * 体重を上り坂側に維持してください
- * ブレーキをかけてください
- * 停止後にブレーキレバーロック（パーキングブレーキ）をかけてください

後退を開始する場合：

- * 体重を上り坂側に維持してください
- * 後方への移動中は、ブレーキをかけてください
- * ATVが完全に停止したら、ブレーキレバーロック（パーキングブレーキ）をかけ、上り坂側または上り坂側を向く方法にATVから降りてください
- * 下り坂側を向くようにATVを回転させ、本オーナーズマニュアルに記載されている手順に従って再乗車してください



潜在的な危険

障害物を越えてATVに不適切に乗車する。

発生する可能性がある危険

障害物を不適切に乗り越えると、ATVの制御を失ったり、衝突を引き起こしたりする可能性があります。制御不能または衝突により、ATVが転倒する可能性があります。

危険を回避する方法

新しいエリアでATVを操作する前に、障害物がないか確認してください。大きな岩や倒木などの大きな障害物を越えてATVに乗ろうとしないでください。障害物を乗り越えるときは、必ず本オーナーズマニュアルに記載されている適切な乗車手順に従ってください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。



潜在的な危険

深い水の中または高速で流れる水の中でATVを操作する。

発生する可能性がある危険

ATVのタイヤが浮き、トラクションが失われたり、制御が失われたりして、事故につながる可能性があります。水はまた、ATVのブレーキシステムの停止能力を低下させる可能性があります。

危険を回避する方法

流れの速い水やフットレストより深い水でATVを操作しないでください。濡れたブレーキでは停止能力が低下する可能性があることに注意してください。水から離れた後、ATVのブレーキをテストしてください（下の警告ボックスを参照）。

- 注記：ATVを使用して、ゆっくりと移動する水を最大深度**20 cm (7.9 インチ)**まで横断することができます。水に入る前に、ルートを慎重に選択して、ATVの制御を失う可能性のある鋭利な物体、岩、または滑りやすい状態を回避できるようにしてください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

水を渡った後の制動能力の喪失。

発生する可能性がある危険

水はATVの制動システムに影響を与え、停止性能を低下させる可能性があります。

危険を回避する方法

水を離れた後、ATVのブレーキをテストしてください。必要に応じて、ブレーキを数回スムーズにかけ、パッド、ドラム、ローターを乾かしてください。ブレーキ性能が正常に戻ったことを確認するまで、ゆっくりと注意深く運転してください。



潜在的な危険

ATVに乗車するときの横滑りまたは縦滑り。

発生する可能性がある危険

横滑りや縦滑りは、ATVの制御を失う原因となる可能性があります。横滑りまたは縦滑りすると、ATVが予期せず牽引力を取り戻し、ATVが転倒する可能性があります。

危険を回避する方法

低速で滑らかな地形でATVを練習して、横滑りや縦滑りを安全に制御する方法を学んでください。氷などの非常に滑りやすい路面では、ゆっくりと進み、ATVが横滑り、縦滑りして制御不能になる可能性を減らすように注意してください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

警告 - 乗車時



潜在的な危険

ATVで不適切な後退操作を行う。

発生する可能性がある危険

ATVで障害物や後ろの人にぶつかると、重傷を負わせる可能性があります。

危険を回避する方法

後進ギアを入れる前に、後ろに障害物や人がいないことを確認してください。安全に続行できる場合は、ATVを低速で後退方向に操作してください。



潜在的な危険

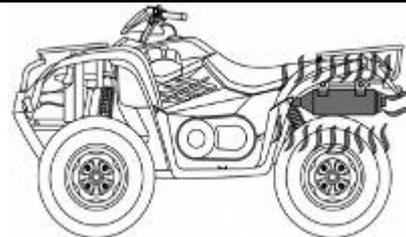
排気システムは非常に高温になる可能性があります。

発生する可能性がある危険

運転中または運転後に排気システムに触れた人が火傷する可能性があります。

危険を回避する方法

高温のときに排気システムに触れないでください。他の人が排気システムに触れる可能性のある場所にATVを駐車しないでください。高温の排気システムを備えたATVを駐車するときは、子供、動物、または可燃物が排気システムに触れないように特に注意してください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。



潜在的な危険

ATVの不適切な駐車（特に丘やその他の斜面への駐車）。

発生する可能性がある危険

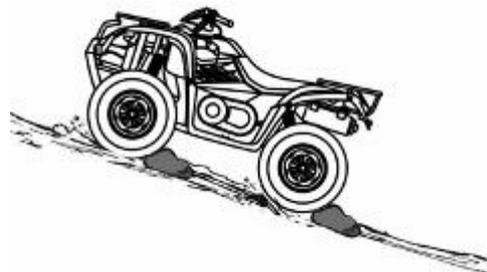
ATVが人を傷つけたり、ATVまたは他の資産に物理的な損傷を与える可能性のある場所に移動する可能性があります。

危険を回避する方法

丘の上に駐車しないようにしてください。駐車する場所は常に水平な場所を選んでください。ATVを停止した後、ニュートラルにシフトする間ブレーキを保持し、パーキングブレーキを設定してイグニッションスイッチをオフにしてください。

注記：

ATVには、ATVのフロントブレーキをロックして所定の位置に保持するパーキングブレーキが装備されています。パーキングブレーキの設定を参照してください。急な地形での追加のセキュリティパーキングについては、岩やその他の物体を使用して、ATVの車輪の後ろ（車輪の下り坂側）の輪止めとして使用してください。



重傷または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

ATVに乗車する

ATV への乗車

ATVに乗車するときは注意してください。ATVは四輪バギーですが、乗車するときに車体を過度に揺らさないように注意してください。着席するには：

1. **ATVの左側から、左側のハンドルバーをつかみ、ブレーキをかけ、左足をフットレストに置いてください**
2. **右側のハンドルバーをつかんでください**
3. **足をシートの上に振り、右側のフットレストに右足を下ろします**
4. **適正な位置に着席してください**
5. **常にフットレストに足を置いたままにしてください**

エンジンの始動

常に平らな面に静止しているときにATVを始動してください。

一酸化炭素中毒により死亡する可能性があるため、密閉された空間でATVのエンジンを作動させないでください。次の手順に従ってATVを始動してください。

1. **ATVに乗車して着席してください。**
2. **パーキングブレーキをかけてください**
3. **ニュートラルにシフトしてください**
4. **イグニッションスイッチをオンに回してください**
5. **緊急停止スイッチをRUNに動かしてください**
6. **スターターボタンを押してください**
7. **エンジンを暖機運転させてください**

乗車

本マニュアルを注意深く読み、含まれる安全警告に特に注意してください。ATVを操作する前に、乗車のヒントと警告を確認してください。



ATVを操作する前に、ATV安全コースに登録して完了してください。KYMCO販売店からコース情報を入手してください

駐車

ATVを駐車するときは、次のガイドラインを使用してください。

1. **ATVを停止した後、ニュートラルにシフトしてください**
2. **エンジン停止スイッチを使用してエンジンを停止させてください**
3. **イグニッションスイッチをオフに回してください**
4. **ATVは常に平らな地面に駐車してください。丘の上に駐車する必要がある場合は、ATVのトランスミッションをローギアにシフトしてください。**
5. **パーキングブレーキをかけてください**

ATVから降車する

ATVを駐車して降車する場合：

1. **パーキングブレーキがかかっていることを再確認してください**
2. **右足をシートの左側に移動させてください**
3. **ATVの左側から降りてください**

ATVに乗車する

お客様以外のライダーについて

お客様が他者にATVへの乗車を許可するとき、お客様は彼らの安全と彼らの行動に責任を持つことになります。他者の乗車能力、適切なATV操作の認識、地形、およびATVの状態を考慮して、他者がATVに乗れるようにしてください。さらに、ATVに乗車している間に他者がとる可能性のある行動に対して法的に責任を負うことになります。

経験の浅いトレーニングを受けていないライダーについて

適切かつ安全なATV操作の教育を受けていない他者をATVに乗車させないでください。ATVを所有している、または以前に乗車の経験がある他者でさえ、安全なATV操作について、正式なトレーニングコースを受講していない可能性があります。車両の所有者として、教育を受けていない他者（特に未成年の子供）をATVに近づけないようにするのはお客様の責任です。

ATVライダーの年齢に関するガイドライン

経験に関係なく、16歳未満の人にATVを操作させないようにしてください。KYMCOとATV Safety Instituteは、すべてのATV運転者が年齢に応じて適切なサイズのATVに乗ることを推奨しています。

6～11	70まで	16～規定値/24～最大
12～15	90まで	24～規定値/48～最大
16以上	90以上	国内規制に従います

経験豊富なトレーニングを受けたライダーについて

他者にATVを貸与するとき、お客様は彼らを監督し、彼らの行動を制御する責任を負います。他者がATVに乗る前に、ATVトレーニングコースを受講してもらい、ATV安全ビデオを見てもらい、本オーナーズマニュアルを読んでもらってください。ATVの所有者として、お客様は彼らのトレーニングに責任を負います。

すべてのATVが同じように動作したり、同じ動作性を有しているわけではありません。乗車位置が異なる場合があり、制御が異なる場合があり、電力供給はATVのブランドおよびモデルによって異なります。したがって、他者が一般的にATVでどれだけの経験を持っているかに関係なく、他者はおお客様のATVでの経験がありません。他者を乗車させる前に、他者と一緒に時間を過ごして、ATVの操作に慣れていることを確認してください。

定期保守

ATVを適切に定期点検および調整をすることは、最適な性能と安全性を維持するために重要です。

本マニュアルおよび他の公式KYMCO出版物に記載されている保守スケジュールに従ってください。

ATVのコンポーネントの異常なノイズ、振動、または不適切な機能に気付いた場合は、**ATVを操作しないでください**。KYMCO ATV正規販売店に、ATVの検査、調整、または修理を依頼してください。

本オーナーズマニュアルに記載されている保守手順または点検のいずれかを実行する資格がないと思われる場合は、ATVをKYMCO ATV正規販売店に持って行って専門的なサービスを受けてください。

- **注記**：次のページの説明と情報は、ATVの保守と手入れの特定の項目を参照しています。

ATVの操作方法について、**KYMCO ATV正規販売店**とご相談ください。このコンサルティングは、ATVの運用寿命を延ばすためのサービス頻度と方法に関する有用なアドバイスを提供します。



潜在的な危険

作動中のエンジンの点検。

発生する可能性がある危険

可動部品が、衣服、体の一部に当たり、怪我を引き起こす可能性があります。

電気コンポーネントにより、感電または火災を引き起こす可能性があります。

危険を回避する方法

特に指定されていない限り、保守を実施するときは、エンジンをオフに切り替えてください。

ATVの点検に精通していない場合は、KYMCO ATV正規販売店に点検を依頼してください。

定期保守

定期点検チャート

保守チャート (1/3)

項目	手順 いずれか早い方を選択	新車納車後			
		以降			
		マイル	100	600	1200
		Km	150	1000	2000
月数	1	6	12		
エンジンオイル	■交換してください（排出前にエンジンを少し暖めます）。		○	○	○
* オイルストレーナ	■清掃してください ■必要に応じて交換してください。		○	○	○
エンジンオイルフィルター カートリッジ	■交換してください。		○	○	○
ファイナルギアオイル	■オイルレベル/オイル漏れを確認してください。 ■12ヶ月ごとに交換してください。		○		○
ディファレンシャルギアオイル	■オイルレベル/オイル漏れを確認してください。 ■12ヶ月ごとに交換してください。		○		○
エアフィルターエレメント (エンジンおよび* Vベルト コンパートメント用)	■清掃してください（濡れた場所またはほこりの多い場所ではより頻繁に）。 ■必要に応じて交換してください。			○	○
* スロットル本体	■アイドリング速度/スターターの動作を確認してください。 ■必要に応じて調整してください。				○
* シリンダーヘッドカバー 通気システム	■通気ホースの亀裂または損傷を確認してください。 ■必要に応じて交換してください。			○	○
スパークプラグ	■状態を確認してください。 ■プラグギャップを調整し、清掃してください。 ■必要に応じて交換してください。		○	○	○
* 燃料経路	■燃料ホースの亀裂または損傷を確認してください。 ■必要に応じて交換してください。			○	○

定期保守

保守スケジュールチャート (2/3)

項目	手順	いずれか早い方を選択		以降		
		マイル	100	600	1200	
		Km	150	1000	2000	
		月数	1	6	12	
* 吸気/排気バルブ	<ul style="list-style-type: none"> ■バルブクリアランスを確認してください。 ■必要に応じて調整してください。 		○	○	○	
* ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ■動作およびブレーキ液を確認してください。 ■必要に応じて、ブレーキパッドを交換してください。 		○	○	○	
* クーラント	<ul style="list-style-type: none"> ■クーラントの漏れを確認してください。 ■必要に応じて交換してください。 ■クーラントを24か月ごとに交換してください。 		○	○	○	
* V-ベルト	<ul style="list-style-type: none"> ■動作を確認してください。 ■損傷または過度の摩耗の場合、交換してください。 		○		○	
* 排気システム	<ul style="list-style-type: none"> ■漏れを確認してください。 ■必要に応じて再締め付けしてください。 ■必要に応じて、ガasketを交換してください。 			○	○	
スパークアレスタ	<ul style="list-style-type: none"> ■清掃してください。 			○	○	
* ホイール	<ul style="list-style-type: none"> ■バランス/損傷/不足を確認してください。 ■必要に応じて交換してください。 		○	○	○	
* ホイールベアリング	<ul style="list-style-type: none"> ■ベアリングアセンブリの緩み/損傷を確認してください。 ■損傷している場合は交換してください。 		○	○	○	
* ステアリングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■動作を確認してください。 ■損傷している場合は交換してください。 ■トーインを確認してください。 ■必要に応じて調整してください。 		○	○	○	
* ドライブシャフトブーツ	<ul style="list-style-type: none"> ■動作を確認してください。 ■必要に応じて交換してください。 			○	○	

定期保守

保守スケジュールチャート (3/3)

項目	手順 いずれか早い方を選択	取り付け		以降	
		マイル	100	600	1200
		Km	150	1000	2000
		月数	1	6	12
* サスペンション	<ul style="list-style-type: none"> ■動作を確認してください。 ■必要に応じて修正してください。 			○	○
* ナックルシャフト/ ステアリングシャフト	<ul style="list-style-type: none"> ■6か月ごとに給脂してください。 ** 			○	○
* 継手および留め具	<ul style="list-style-type: none"> ■すべての継手および留め具を確認してください。 ■必要に応じて修正してください。 		○	○	○

* : これらの項目をKYMCO販売店が点検することをお勧めします。

** : リチウム石鹸ベースグリース。

定期保守

工具キット/工具キットコンパートメント

工具キットは、シートの下の工具キットコンパートメントに保管されます。



キット内の工具は、日常の保守と簡単な修理を実行するのに十分です。追加の工具を必要とする大規模な作業は、KYMCO正規販売店が行うようにしてください。



工具キットには次の項目が含まれます。

1. 工具ポーチ
2. レンチ - 10/12 mm
3. 低圧タイヤゲージ
4. スパークプラグソケット
5. 標準/プラスドライバービット
6. ドライバーハンドル



潜在的な危険

不適切な変更を加えたATVの操作。

発生する可能性がある危険

付属品の不適切な取り付けや車両の改造により、取り扱いが変更され、場合によっては事故につながる可能性があります。

危険を回避する方法

不適切な取り付けやKYMCO以外のアクセサリを使用してATVを改造しないでください。KYMCOが承認していない手順や部品を使用してATVを修理しないでください。

ATVに追加されるすべての部品とアクセサリは、本ATVで使用するために設計された純正のKYMCOまたは同等のコンポーネントである必要があります。すべてのサービスは、資格のある技術者などの有能な担当者が行うようにしてください。取り付けられるすべての部品は、部品の指示に厳密に準拠して行うようにしてください。

ご質問がある場合は、KYMCO 正規販売店にお問い合わせください。

定期保守

ラジエーター



ラジエーターエリアの汚れを定期的にチェックしてください。放射フィンを検査してください。これらは清潔で、泥、汚れ、葉、およびラジエーターが適切に冷却されるのを妨げるその他の堆積物がないことが必要です。手でできるだけ取り除いてください。近くに水がある場合は、放射フィンをすすいでください。可能な場合は、ガーデンホースを使用して放射フィンをすすいでください。

▲注意

ラジエーターが高温のときは、絶対に手で掃除しないでください。清掃する前に、ラジエーターを冷ましてください。

ショックアブソーバー

ATVの各ショックアブソーバーは、過度の液漏れ（一部のシール漏れは正常です）、ショックボディのひび割れや破損、またはショックロッドの曲がりがないか、毎週目視検査してください。いずれかの状態が検出された場合は、交換してください。

- 注記：極寒（-10°F/-23°C以下）でATVに乗ると、ショックロッドに少量の液漏れが発生する場合があります。漏れが大きすぎない限り、ショックアブソーバーの交換は必要ありません。

ショックアブソーバーには5つの位置にあるスプリング力調整スリーブがあり、さまざまな乗車条件や負荷条件に合わせてスプリングレートを調整することができます。スプリングレートが柔らかすぎたり硬すぎたりする場合は、下の表に従ってスリーブを調整してください。



- 注記：スパナレンチを使用して、スプリング力調整スリーブを目的の位置に調整してください。

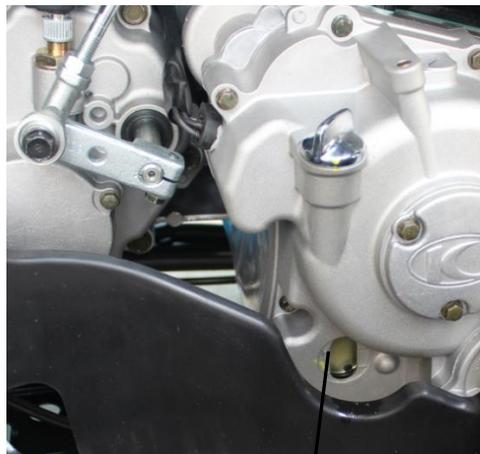
位置	スプリング力	設定	負荷
1	↓	柔らかい	軽い
2		↕	↕
3			
4			
5		強い	硬い

定期保守

エンジンオイル

1. エンジンオイルレベルの測定

- A. ATVを平らな地面に駐車してください
- B. チェックウィンドウからエンジンオイルを確認してください。
- C. オイルレベルは、最大レベル (H) と最小レベル (L) の間にある必要があります。レベルが低すぎる場合は、適切なレベルにオイルを追加してください。



▲注意

エンジンオイルを過剰に給油しないでください。エンジンオイルを過充填すると、オイル漏れやエアフィルターエレメントの汚染を引き起こす可能性があります。オイルレベルが「L」マークより上であるが「H」マークより高くないことを常に確認してください。

定期保守

2. エンジンオイルの交換およびストレーナの清掃

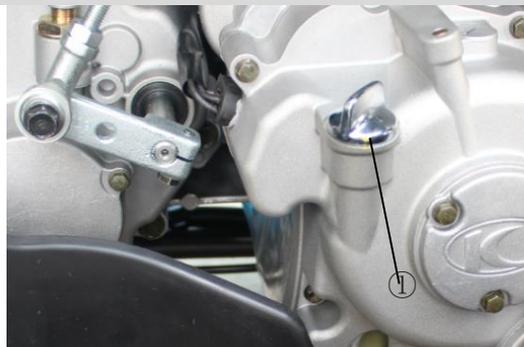
ATVのエンジンオイルを交換し、スケジュールされた間隔でオイルストレーナを清掃してください。オイルを交換するときは、エンジンを少し暖気して、オイルが簡単かつ完全に排出されるようにしてください。

- A. ATVを平らな地面上に駐車してください
- B. エンジンの下に適切な油受けを置いてください
- C. エンジンオイル給油キャップ①とオイルフィルターキャップ②を取り外して、オイルを排出してください。
- D. オイルストレーナを溶剤で清掃してください。
- E. Oリングを点検し、損傷している場合は交換してください
- F. Oリング、オイルストレーナ、圧縮スプリング、オイルフィルターキャップを再取付してください。オイルストレーナキャップを規定トルクまで締め付けてください。
- G. エンジンにオイルを給油し、エンジンオイル給油キャップを取り付けてください。
- H. アイドル速度で数分間エンジンをウォームアップしてください。ウォームアップ中に、オイル漏れを確認してください

▲注意

オイルフィルターキャップを取り外すと、圧縮スプリング、オイルストレーナ、Oリングが落下します。これらの部品をなくさないようにしてください。

排出プラグを再取付する前に、必ず、Oリング、圧縮スプリング、オイルストレーナを取り付けてください。



締め付けトルク：
オイルフィルターキャップ（エンジン）：
14.7Nm（1.5m·kg、11ft·lb）

定期保守

3. エンジンオイルの交換

- A. ATVを平らな地面に駐車してください
- B. エンジンの下に適切な容器を置いてください
- C. エンジンオイル給油キャップ①とエンジンオイル排出プラグ②を取り外して、オイルを排出してください。
- D. 排出プラグを再取付し、排出プラグを規定トルクまで締め付けてください。
- E. エンジンにオイルを給油し、エンジンオイル給油キャップを取り付けてください。

■ エンジンオイル量

定期オイル交換： 1.4 L

総容量： 1.6 L

■ エンジンオイル推奨規格

粘度： SAE 10W-30

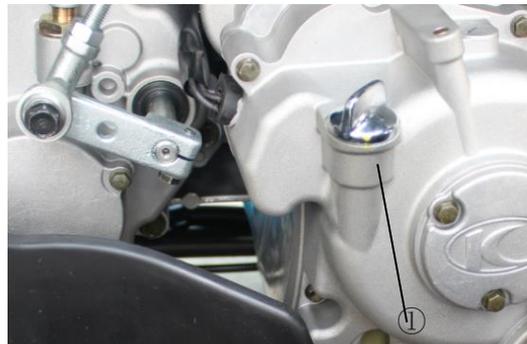
タイプ： API SJタイプ以上

- 注記：使用済みオイルとフィルターは環境的に適切な方法で廃棄してください。



注意

異物がクランクケースに入らないように注意してください。



締め付けトルク：

排出プラグ（エンジン）：

30Nm (3.0m·kg、22ft·lb)

定期保守

トランスミッションオイル

トランスミッションオイルの交換

1. ATVを水平な場所に配置してください。
2. 適切な油受けをトランスミッションケースの下に配置してください。
3. オイルフィルターボルト①を取り外してください。
4. 排出プラグ②を外してオイルを排出してください。
5. 排出プラグを再取付し、排出プラグを規定トルクまで締め付けてください。
6. ギアケースにオイルを給油し、オイルフィルターボルトを取り付けてください。
7. オイルレベルチェックボルト③を外してください。オイルレベルがオイルレベルチェック穴に達していることを確認してください。
8. エンジンを始動し、数分間走行してください。走行後にオイル漏れがないか確認してください。オイル漏れが発見された場合は、直ちにエンジンを停止して、原因を確認してください。

■ トランスミッションオイル量

定期オイル交換： 0.5 L (0.43 Imp qt, 0.53 US qt)

総容量： 0.6L (0.52 Imp qt, 0.64 US qt)

■ 推奨オイル規格：SAE #90。



注意

異物がギアケースに入らないように注意してください。



③

定期保守

リアファイナルギアケースオイル

保守スケジュールに規定された走行距離で、リアファイナルギアケース内のオイルを交換してください。ATVを平らな地面に置いて、ファイナルギアケースが温かい状態でオイルを交換し、完全かつ迅速な排出を確保してください。

リアファイナルギアオイル交換

1. オイルを排出する場合、まずオイル排出プラグ①の下に適切な油受けを置いてください
2. オイルフィルターキャップ②を外してください
3. 排出プラグを取り外してください
4. オイルが完全に排出されたら、排出プラグを再度取り付けてください
5. ギアケースに推奨オイルを給油してください

オイルレベルチェックボルト③を外してください。オイルレベルがオイルレベルチェック穴に達していることを確認してください。

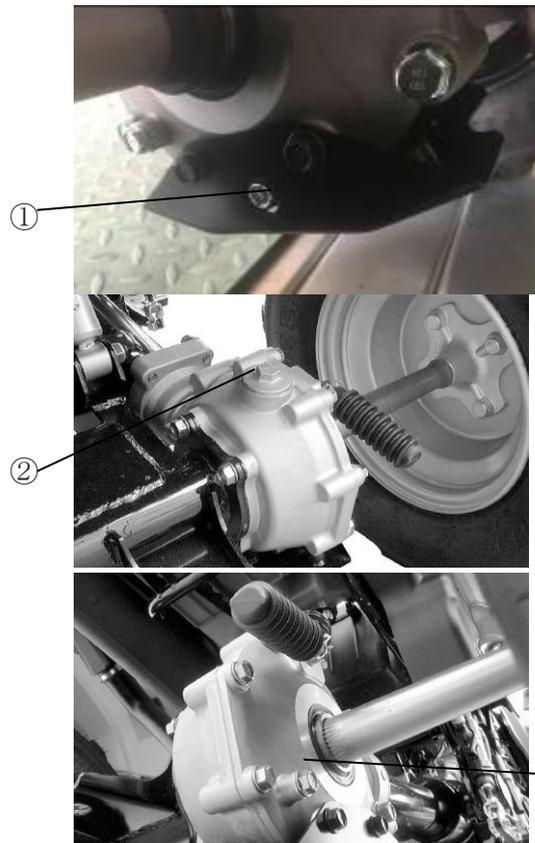
6. オイルフィルターキャップとオイルレベルチェックボルトを取り付けてください。

■ リアファイナルギアオイル

定期オイル交換： 0.1L (0.09 Imp qt, 0.11 US qt)

総容量： 0.15L (0.13 Imp qt, 0.16 US qt)

■ 推奨オイル規格：SAE # 90。



定期保守

スパークプラグ

スパークプラグは重要なエンジンコンポーネントであり、検査が簡単です。スパークプラグの状態は、状態またはエンジン、およびそれがどの程度正常に動作しているかを示すことができます。

薄茶色の絶縁体は、スパークプラグが正常であることを示します。

非常に白い色の絶縁体は、吸気漏れまたは燃料噴射の問題を示している可能性があります。このような問題をお客様自身で診断しようとししないでください。代わりに、ATVをKYMCO ATV正規販売店に持って行ってください。

スパークプラグを点検する前に、スパークプラグの取り外しまたは取り付け時にエンジンに汚れが入らないように、スパークプラグの周囲を清掃してください。

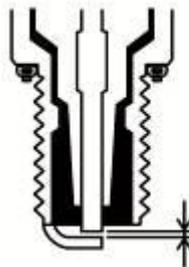
■ スパークプラグの推奨規格

ブランド： NGK

サイズ： DPR7EA-9

電極ギャップ： 0.8~0.9 mm (0.031~0.034 インチ)

■ 注記：スパークプラグを取り付ける前に、電極ギャップを測定し、適切な仕様に調整してください。



Adjust the spark plug's ground electrode gap to 0.028 - 0.032 in. (0.7 - 0.8mm). Use a wire-type feeler gauge to check the gap.

スパークプラグを取り付けるときは、常にシリンダーヘッドのスパークプラグのガスケット面を清掃し、シーリングワッシャーがスパークプラグに取り付けられていることを確認してください。取り付けの前に、スレッドから汚れを拭き取ってください。

最初にスパークプラグをシリンダーヘッドに手でねじ込み、ねじ山が適切にかみ合っていることを確認してください。次に、スパークプラグソケットで指定されたトルクで締め付けてください。

■ 締め付けトルク

フエスナー	トルク		
	ft-lb	n-m	kgf-m
スパークプラグ	7.2~10.1	9.8~13.7は	1.0~1.4

定期保守

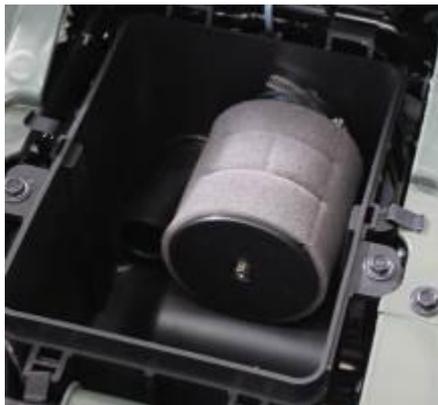
エアクリーナフィルター

エアクリーナーのフィルターエレメント（エアフィルター）は、吸入空気中の埃を捕らえ、エンジンへの侵入を防ぎます。この埃を除去するため、定期的に清掃してください。埃の多い場所で、ATVに乗る場合は、保守スケジュールで提案されているよりも頻繁にエアフィルターを清掃してください。ATVが水中に沈んだ場合は、エアクリーナーコンパートメントからすぐに水を抜いて、エアフィルターに損傷がないか確認してください。



エアフィルターの清掃

- A. シートを取り外してください。
- B. 4つの金属クリップを押して、エアクリーナーカバーを取り外してください。
- C. フィルターエレメントを取り外してください。
- D. 適切なサイズの洗浄パンに不燃性の溶剤を入れ、エレメントから汚れを洗い流してください。
- E. 両手の手のひらでエレメントを押して、余分な溶剤を取り除いてください。エレメントをねじったり、潰したりしないでください。損傷する可能性があります。
- F. エレメントを乾燥させてください。



定期保守

- G. エレメントをビニール袋に入れてください。エアフィルターオイルをビニール袋に注ぎ、オイルをエレメントに浸透させてください。
- H. エレメントを絞って余分なオイルを取り除いてください。
- I. エアクリーナーの内側から汚れやごみを取り除いてください。エンジン内部に汚れが入らないように注意してください。
- J. エアフィルターとカバーを再度取り付けてください。

▲注意

エアフィルターが破れた場合、ATVのエンジンが損傷する可能性があります。エレメントが破れると、エンジン内部に汚れやほこりが入る可能性があります。清掃の前後に、エレメントに裂け目がないか注意深く調べてください。何らかの形で破れたり損傷したりした場合は、エレメントを新しいものと交換してください。

定期保守

スロットルレバーの調整

エンジンの出力を正確に制御するには、適切なスロットルレバーの調整が必要です。

- **注記**：スロットルレバーの遊びを調整する前に、エンジンのアイドル回転数を調整してください。

ブレーキレバーの遊びを調整するには：

- A. 保護ゴムスリーブ①を後方にスライドさせて、スロットルケーブルアジャスターを露出させてください。
- B. アジャスターのロックナットを緩め、アジャスターを内側または外側に回して、スロットルレバーで適切な遊びを確保してください。

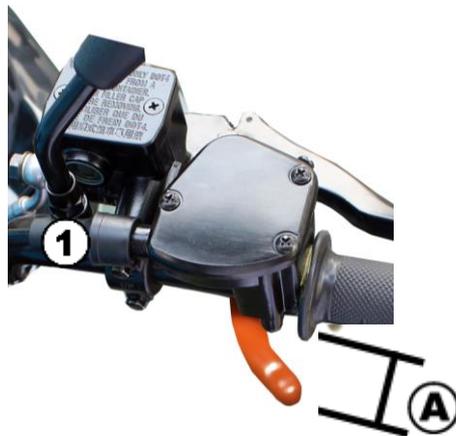
■ 調整仕様

スロットルレバーの遊び (A) : 3~5 mm (1/8~1/4 インチ)

- C. 調整後、ロックナットを締め、ゴムスリーブをケーブルアジャスターの上にスライドさせて戻してください。

その他の確認：

スロットルケーブルに、伸びや故障の原因となるねじれや兆候、摩耗がないか確認してください。早期の摩耗や腐食を防ぐために、スロットルケーブルを市販の潤滑剤で潤滑してください。



定期保守

ブレーキホース

慎重に亀裂又は他の損傷のために油圧ブレーキホースを検査してください。見つかった場合は、ATVをKYMCO ATV正規販売店に持っていき、ブレーキホースを交換してもらってください。

ブレーキパッド

ブレーキパッドとブレーキディスクの間のすき間は、パッドが摩耗すると自動的に調整されます。必要な保守は、ブレーキパッドが摩耗したときに交換することだけです。ブレーキパッドの厚さを確認するには、以下の手順に従ってください。

1. 前輪を取り外してください
2. 各ブレーキパッドの厚さを測定してください
3. パッドの厚さが1.0 mm (0.039インチ) 未満の場合は、ATVをKYMCO ATV正規販売店に持っていき、ブレーキパッドを交換してください。
4. ホイールを再度取り付け、ラグナットを40ft-lbで締めてください。



リアフットブレーキ

ATVのリアフットブレーキは、完全な機能を維持するために、定期的に保守を実施してください。

サービスの前に、火傷を避けるためにマフラーが冷えるのを待ってください。



■ 注記：ブレーキ液リザーバーは、シートの下にあります。

- A. リアブレーキペダルを数回踏み込んで、固さを確認してください。
- B. ペダルの反応がしっかりしていない場合は、システムから空気を抜いてください。

定期保守

ブレーキ液の検査

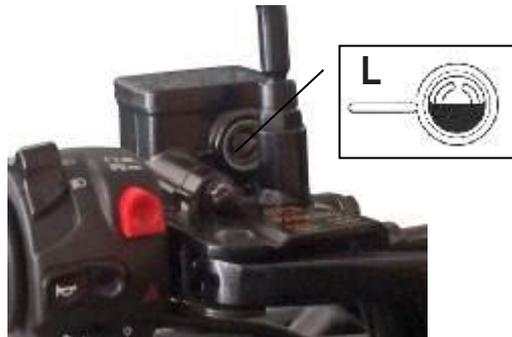
ブレーキ液のレベルとブレーキ液リザーバーの外観を確認してください。

各ブレーキ液リザーバーの液を確認する：

- A. 点検窓を通して、液レベルが低レベルマーク以上であるかどうかを確認してください。
 - B. 「L」マーク（ハンドブレーキ）または「MIN」マーク（フットブレーキ）を下回っている場合は、リザーバーキャップを取り外し、適切なタイプのブレーキ液を追加してください。
 - C. フットブレーキの液レベルが、「MAX」マークを超えないようにしてください。
- ブレーキ液の推奨規格
ブレーキ液のタイプ **DOT 4** (密閉容器から)

▲注意

ブレーキ液リザーバーを充填するときは、液をこぼさないように注意してください。ブレーキ液は、プラスチック部品の表面に損傷を与える可能性があるため、こぼれた液はすぐに拭き取ってください。



ハンドブレーキ



フットブレーキ

定期保守

冷却システムの点検

本ATVには水冷エンジンが搭載されており、性能、寿命、運用効率の優れたバランスを実現します。冷却システム内の液体を維持することは、適切なエンジン寿命と性能のために不可欠です。

クーラントリザーバーの液面レベルの確認：

- A. クーラントレベルは、エンジン温度により変化しますので、エンジンが冷えているときに、クーラントリザーバーのクーラントレベルを確認してください。クーラントレベルは、リザーバーの側面にエンボス加工された**FULL**②マークと**LOW**③マークの間にある必要があります。
- B. 液面が低い場合は、リザーバーキャップ①を取り外し、次に、クーラントまたは蒸留水を追加して、液面を**FULL**マークまで補充してください。

▲注意

硬水または塩水はエンジンに有害です。軟水を手でできない場合は、蒸留水を使用してください。

推奨クーラント液

クーラント混合比：：水**50%**：不凍液**50%**（1：1）

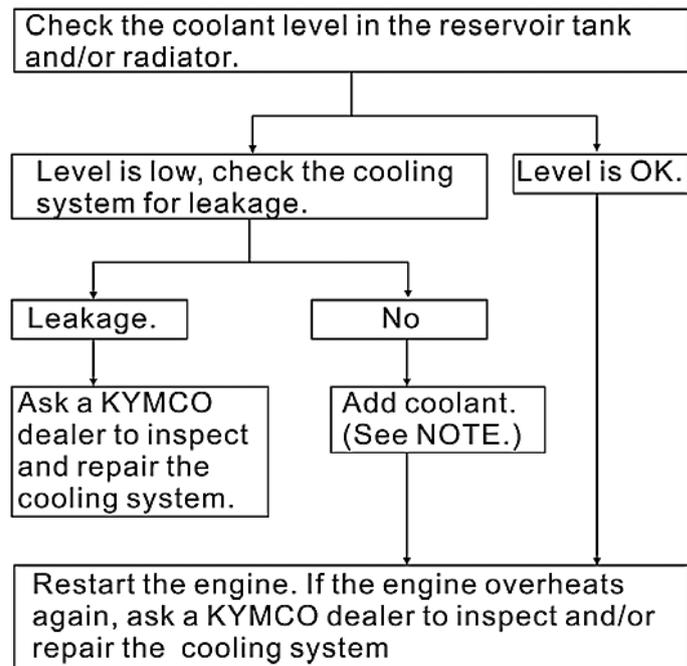


定期保守

- 注記：クーラントに水を加える場合は、**KYMCO ATV** 正規販売店にクーラントの不凍液の含有量をできるだけ早くチェックしてもらってください。不凍液の比率が低いと、冷却システムの効率が低下し、エンジンコンポーネントに腐食性の損傷を引き起こす可能性があります。
- 注記：ラジエーターの冷却ファンの動作は完全に自動化されています。ラジエーター内の冷却水温度に応じてオンまたはオフに切り替わります（イグニッションスイッチが「オン」の場合）。

エンジンの過熱

ATVのエンジンが過熱し始めたら、安全に停止する場所を見つけてエンジンを冷却させてください。



定期保守



潜在的な危険

エンジンとラジエーターがまだ熱いうちに、ラジエーターキャップを取り外す。

発生する可能性がある危険

圧力がかかった状態でラジエーターから吹き出される高温の液体と蒸気によって火傷を負う可能性があります。

危険を回避する方法

エンジンが冷えるのを待ってから、ラジエーターキャップを取り外してください。常にキャップの上に厚い布を使用してください。キャップを完全に取り外す前に、残りの圧力を逃がしてください。

保守スケジュールでクーラント液の交換が推奨されている場合は、KYMCO ATV正規販売店にこのサービスを依頼してください。

- 注記：推奨クーラントが入手できない場合は、KYMCO ATV正規販売店にシステムを洗浄してもらい、適切なクーラントをできるだけ早く充填するのであれば、水道水を一時的に使用することができます。

ホイール

ホイールの取り外し

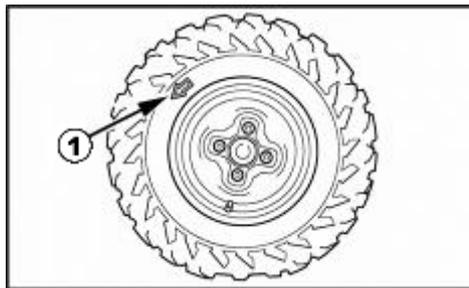
コンポーネントの検査またはサービスのためにホイールを取り外す必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

ホイールの取り外し手順：

- ATVを平らな地面に駐車し、パーキングブレーキをかけてください。
- フレームの下にある適切で頑丈なスタンドを使用して、ホイールが地面から離れるようにATVを持ち上げてください。
- ホイールから4つのラグナットを取り外してください。
- ATVからホイールを取り外してください。

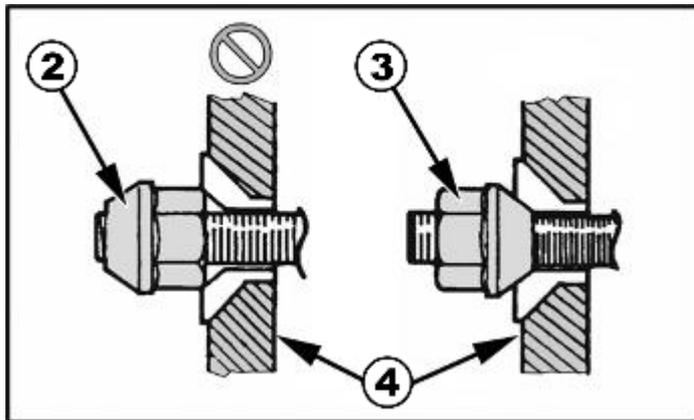
ホイールの取り付け

ATVにホイールを再び取り付けるときに、タイヤの回転を確認してください。タイヤの方向矢印①に注意してください。



- 注記：ホイールを再び取り付けるときは、ホイールのラグナットを（円形ではなく）十字形のパターンで締めてください。

定期保守



- 注記：ラグナット③のテーパ側②がホイールリム④に向いていることを確認してください。
- 注記：ラグナットを規定のトルクで締めてください。
- 締め付けトルク：

ファスナー	トルク		
	ft-lb	n-m	kgf-m
フロントホイールラグナット	36.2～ 44.1	50～61	5.0～6.1
リアホイールラグナット	36.2～ 44.1	50～61	5.0～6.1

潜在的な危険

ATVに誤ってホイールを取り付ける。

発生する可能性がある危険

ホイールが緩んで事故の原因となる可能性があります。

危険を回避する方法

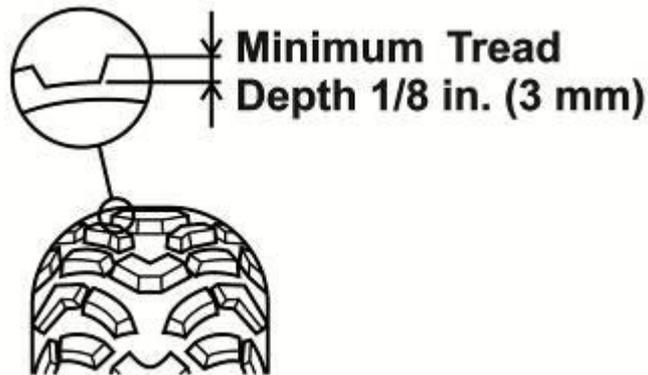
オーナーズマニュアルの指示に注意深く従ってください。

ホイールを正しく取り外したり取り付けたりする能力について懸念や疑問がある場合は、**KYMC O ATV**正規販売店にこのサービスを実行してもらってください。

定期保守

タイヤトレッド

使い古したタイヤと共にATVを使用することは非常に危険です。トレッドの深さが3 mm (1/8 インチ) 未満の場合、タイヤは摩耗していると見なされます。トレッドの深さのサービス制限に達する前に、必ずATVのタイヤを交換してください。



ATVで摩耗したタイヤを使用すると危険であり、事故のリスクが高まる可能性があります。

タイヤ交換

ATVには、低圧チューブレスタイヤが装備されています。空気は、内側のホイールリムとタイヤビードの接触面によって密閉されています。インナーホイールリムまたはタイヤビードのいずれかが損傷していると、空気が漏れる可能性があります。適切なツールを利用できない場合、または技術的な能力が不足している場合は、KYMCOATV正規販売店にタイヤの修理を依頼してください。

▲注意

タイヤビードをホイールから外すときは、ホイールの内面やタイヤビードを傷つけないように十分注意してください。



ATVでタイヤを交換するときは、KYMCO承認タイヤのみを使用してください。そうしないと、ATVの動作が不安定になる可能性があります。

定期保守

チューブレスタイヤの修理

パンクによるタイヤの漏れやパンクが発生した場合、プラグ式修理で一時的にタイヤを修理することができます。損傷が切り傷によるものである場合、またはプラグを使用してパンクを修復できない場合は、タイヤを交換してください。交通機関やサービス施設がすぐに利用できない地域でATVに乗るときは、プラグタイプの修理キットとタイヤ空気入れを携帯してください。



ATVで不適切に修理されたタイヤを使用すると、危険であり、事故のリスクが高まる可能性があります。修理されたタイヤは、KYMCO ATV正規販売店にできるだけ早く点検してもらってください。

- タイヤ仕様については、必ず純正部品を使用してください。

バッテリー



バッテリー

バッテリーは密閉型ですので、電解液量の確認や蒸留水を加える必要はありません。バッテリーが弱い場合は、KYMCOATV正規販売店にアドバイス、バッテリーの充電または交換を依頼してください。バッテリーを交換する場合は、密閉されていて、サイズと容量が元のバッテリーと同等のものを選択してください。



注意

バッテリーに刻印されているすべての安全上の注意を必ず読み、それに従ってください。

バッテリーを損傷する可能性があるため、バッテリーセルの上部からキャップを取り外そうとしないでください。

バッテリーは密閉されていますが、爆発性ガスを放出する可能性があるため、適切な取り扱いをしてください。

定期保守



潜在的な危険

バッテリーを裸火または点火源の近くに置く。

発生する可能性がある危険

ガスが爆発し、怪我を引き起こす可能性があります。

危険を回避する方法

バッテリーを裸火または点火源の近くに置かないようにしてください。

- 注記：ATVを長期間（1週間以上使用しない場合）保管する場合は、バッテリーを車両から取り外して完全に充電してください。その後、涼しく乾燥した場所に保管してください。バッテリーを車両に残しておく場合は、バッテリーのマイナス端子リードを外してください。
- 注記：ATVのバッテリーを充電するときは、バッテリーの容量に見合う出力を備えた、密閉されたメンテナンスフリータイプのバッテリー用に設計されたバッテリー充電器を使用してください。
- 注記：バッテリーポスト、端子、および関連コンポーネントには、鉛および鉛化合物が含まれています。これらのアイテムを取り扱った後は、手を洗ってください。

バッテリーの取り外し



- A. イグニッションスイッチがオフであることを確認してください。
- B. バッテリーホールドダウンを取り外してから、バッテリーケーブルを外してください。（最初にマイナスケーブルから外してください）
- C. バッテリーコンパートメントからバッテリーを取り外してください。

逆の順序で取り付けてください。



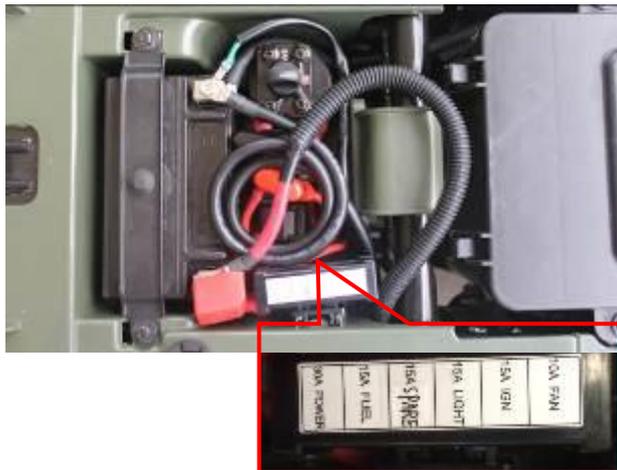
注意

バッテリーを取り付けるときは、電氣的短絡を避けるために、最初にプラス[+]ケーブルを接続し、次にマイナス[-]ケーブルを接続してください。

定期保守

ヒューズ

ヒューズボックスはシートの下のパターリーの隣にあります。電気システムに何らかの障害がある場合は、必ず最初にヒューズを確認してください。



▲注意

電氣的短絡を避けるために、ヒューズをチェックまたは交換する前に、メインイグニッションスイッチをオフにしてください。

ヒューズを交換するには：

- イグニッションスイッチがオフであることを確認してください。
- ヒューズボックスキャップを取り外してください。
- 古いヒューズをヒューズホルダーから取り外してください。
- (適切な容量の) 新しいヒューズを挿入してください。
- ヒューズボックスキャップを再度取り付けてください。



潜在的な危険

不適切なヒューズの使用。

発生する可能性がある危険

不適切なヒューズは、ATVの電気システムに損傷を与え、火災につながる可能性があります。

危険を回避する方法

常に指定の定格のヒューズを使用してください。適切なヒューズの代わりに異物や金属材料を使用しないでください。

定期保守

電球の交換

各電球の定格ワット数は以下のとおりです。ATVの電球を交換するときは、常に同じワット数定格の電球を使用してください。

ヘッドライト	12V/35W
テールライト/ブレーキライト	12V/35W/35W

▲注意

ATVの交換用電球としてこのマニュアルで指定されている電球のみを使用してください。

ヘッドライト

- 注記：ヘッドライトのバルブ部分が脆弱です。取り扱いに注意してください。ヘッドライトの電球を交換するときは、電球のガラス部分に触れないでください。ガラスに触れた場合は、取り付ける前に乾いた布で拭いてください。肌からの油残留物が電球に付着すると、電球が故障する原因になります。

ヘッドライトの電球を交換するには：

- ヘッドライトの背面から配線コネクタを外してください
- 電球のハウジングをつかみ、反時計回りに回して電球を取り外してください
- 新しい電球をハウジングに取り付けて完全に時計回りに回転させてください

- 配線ハーネスコネクタを再取り付けしてください

▲注意

ATVのヘッドライト電球を交換するときは、電球のガラス部分に触れないように注意してください。きれいな布で新しい電球をつかんでください。

テールライト/ブレーキライト

- TVのテールライト/ブレーキライトの電球を交換するには、次の手順を使用してください。
- ソケットを反時計回りに回して、ハウジングから取り外してください
- 電球をソケットから取り外すには、押し込んで反時計回りに回転させてください。
- 新しい電球を取り付けるには、押し込んで時計回りに回してください。
- ソケットをハウジングに挿入し、時計回りに回転させてください。

定期保守

ヘッドライトビームの調整

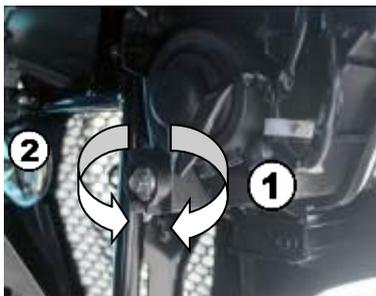
ヘッドライトビームの照準は、暗い場所での走行時にトレイルを最もよく照らすように調整できます。

▲注意

KYMC O ATV正規販売店にヘッドライトビームの調整を依頼することをお勧めします。

ヘッドライトビームアジャスター：

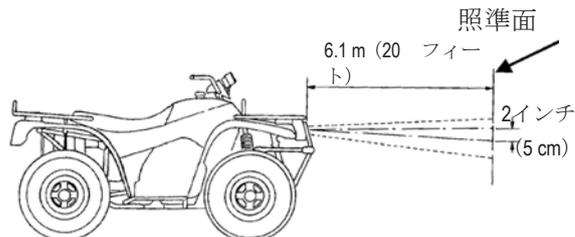
- パーキングブレーキをかけ、トランスミッションがニュートラルになっていることを確認してください。
- アジャスターノブを回して、各ヘッドライトの照準を調整してください。



- 1) 光軸を上げるには①方向にノブを回します
- 2) 光軸を下げるには②方向にノブを回します

ヘッドライトの照準を設定する：

1. ヘッドライトが照準面（壁または同様の面）から6.1 m（約20 フィート）になるように、ATVを水平な床に配置してください。



■ 注記：ヘッドライトの照準を調整するときは、ATVに平均的な動作負荷がかかるようにしてください。

2. 床から各ヘッドライトの中心までの距離を測定してください
3. 手順2で取得した測定値を使用して、照準面に水平マークを作成してください
4. ヘッドライトの真正面にある照準面の水平マークと交差する垂直マークを作成してください
5. ATVのライトをオンにしてください。ハイビームがオンになっていることを確認します。ロービームは使用しないでください
6. 各ヘッドライトビームの照準を観察してください。適切な照準は、ビームの最も強いビーム部分が照準面の水平マークの下5 cm（2インチ）の垂直マークの中心にあるときに達成されます。
7. アジャスターノブを時計回りまたは反時計回りに回して正しい照準が得られるまで、各ヘッドライトを調整してください（左の画像を参照）。

スロットルケーブルの検査と潤滑



潜在的な危険

損傷した制御ケーブル。

発生する可能性がある危険

スロットルケーブルの外側のシースが損傷すると、腐食が発生する可能性があります。ケーブルがほつれたりよじれたりすることもあります。

どちらの場合も、制御の操作に影響が出て、ATVの制御が困難になる可能性があります。事故や怪我の原因になります。

危険を回避する方法

スロットルケーブルを頻繁に点検してください。損傷したケーブルは、検出されたらすぐに交換してください。

- 注記：内側のケーブルとケーブルの端を推奨潤滑剤で潤滑してください。ATVが湿った状態または冷たい状態、または塩水の近くで操作されている場合は、より頻繁に行ってください。ケーブルがスムーズに作動しない場合は、**KYMC O ATV**正規販売店に交換を依頼してください。
- ケーブル潤滑剤の仕様：**KYMC O**チェーンまたはケーブ

定期保守

トラブルシューティング

KYMCO車両は、工場出荷前に一連の厳格な検査を受けませんが、動作中に問題が発生する可能性があります。いくつかのシステムは、始動が困難になったり、エンジン性能が低下したりする可能性があります。以後のページのトラブルシューティングチャートは、問題の根本原因を見つけるための手掛かりになります。動作上の問題の原因が見つからない場合（または修理が必要な場合）は、ATVをKYMCO ATV正規販売店に持ち込んでください。

KYMCO ATV正規販売店の熟練した技術者は、ATVを適切に整備するための工具、経験、およびリソースを有しています。模造部品はKYMCO部品のように見えるかもしれませんが、多くの場合、それらは劣っています。その結果、それらは耐用年数が短くなり、費用のかかる修理費につながる可能性のある他の問題を引き起こす可能性があります。



潜在的な危険

喫煙中または裸火の近くで燃料システムを確認する。

発生する可能性がある危険

燃料が点火または爆発し、重傷または財産の損害を引き起こす可能性があります。

危険を回避する方法

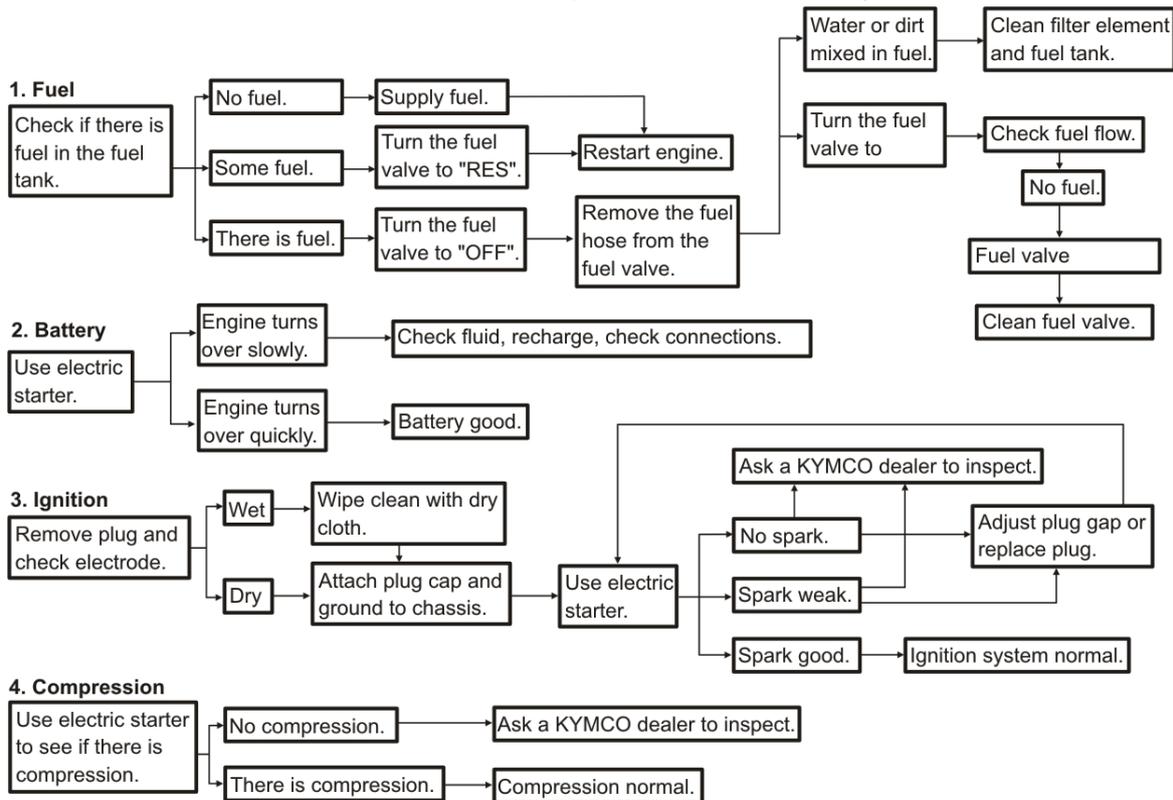
燃料システムのコンポーネントをチェックするときは喫煙しないでください。領域内に裸火、水ヒーターまたはオープンパイロットライトを含む点火源がないことを確認してください。

車両の燃料システムに問題が発生した場合、またはATVの性能問題の原因が不明な場合は、できるだけ早くKYMCO ATV正規販売店にサポートを依頼してください。

定期保守

トラブルシューティングチャート

フローチャートに従って、ATVの問題の考えられる原因と状況を見つけてください。



定期保守

ATVを清掃する

ATVを頻繁かつ徹底的に清掃することで、その外観がきれいに保たれ、一般的な性能を改善し、お客様のATVの利用寿命を延長します。

さらに、徹底的な清掃は、ATVに慣れるのに役立ち、車両の整備または修理が必要であることを警告する状態の変化を認識することができます。これは、ATVがお客様や他者が操作するのに安全であることを確認するのに役立ちます。

1. ATVを清掃する前に：

- A. 水の侵入を防ぐため、排気管の端を塞いでください。排気口の端を覆うには、市販のテーパ付きゴム栓または強力なゴムバンドが付いたビニール袋を使用してください。
- B. スパークプラグとすべての液体/オイルフィルターキャップが正しく取り付けられていることを確認してください。
- C. ツールキットやオーナーズマニュアルなど、清掃中に水で損傷する可能性のあるものをすべて取り外してください。清掃後、これらのアイテムを収納コンパートメント内のビニール袋に収納してください。

2. エンジンケースが過度に汚れている、またはオイルにまみれている場合は、ペイントブラシで脱脂剤を塗布してください。ドライブチェーンとスプロケット（装備されている場合）またはホイールアクスルに脱脂剤を塗布しないでください。

▲注意

清掃時の水圧が高すぎると、水が浸入し、ホイールベアリング、ブレーキ、エンジンとトランスミッションのシール、電気機器が劣化する可能性があります。高圧の水と洗剤の侵入により、高価な修理費が発生する可能性があります。これは、コイン式洗車または小型の家庭用高圧洗浄機によって引き起こされる場合があります。このタイプの水の浸入による損傷は欠陥ではなく、修理はKYMCO限定保証の対象外です。

3. 水まき用ホースを使って、汚れや脱脂剤を洗い流してください。エンジンをきれいに洗浄するのに十分な水圧のみを使用してください。
4. 汚れの大部分が洗い流されたら、温水と中性洗剤タイプの石鹼ですべての表面を洗浄してください。先細のボトルブラシや古い歯ブラシなどの小型ブラシは、届きにくい場所の掃除に効果的です。
5. 浄水でATVを直ちに洗い流して、すべての表面をセーム革、清潔なタオルまたは柔らかい吸収性の布で乾燥させてください。
6. ATVにチェーンが付属している場合、錆を防ぐためにチェーンを乾かして潤滑してください。

定期保守

7. スロットルケーブルの露出した端などの他のアイテムに潤滑して、湿気を放散し、腐食を防いでください。
8. シートを取り外し、シート下のコンパートメントと、汚れているか湿っている可能性のあるコンポーネントを清掃して乾燥させてください。
9. ビニール用クリーナーを使って、シートを清掃し、カバーを柔軟かつ光沢のある状態に維持してください。
10. 自動車タイプのワックスは、塗装およびクロムめっきされたすべての表面に適用することができます。クリーナーワックスの組み合わせは、塗料や保護仕上げを傷つける研磨剤を含んでいる可能性があるため、避けてください。
11. 終了したら、エンジンを始動し、数分間アイドル状態にして、残っている水分を蒸発させてください。



潜在的な危険

洗浄後の濡れたブレーキの状態でのATVの運転。

発生する可能性がある危険

濡れたブレーキは停止能力が低下しているため、事故の可能性が高くなります。

危険を回避する方法

洗浄後、ブレーキをテストしてください。低速で数回ブレーキをかけ、ブレーキパッドとローターを摩擦で乾燥させてください。

定期保守

保管の準備

注意

ATVを長期間保管する前に、必要なサービスと修理がないか検査し、そのような作業を完了してください。上記のサービスニーズが保管前に対処されていない場合、ATVが保管場所から取り外されたときにそれらが忘れられ、不適切または安全でない方法で動作する可能性があります。

汚れや湿気がコンポーネントの錆や劣化を引き起こさないように、ATVも適切に清掃してください。

KYMCOは、以後のページに記載されている手順を使用して、ATVを保管する準備をすることをお勧めします。これらの推奨事項に従うことで、長期間ATVが使用されない場合、劣化するのを防ぐことができます。ATVを保管する準備をする技術的能力が不足している場合は、このサービスの実行についてKYMCO ATV正規販売店にご相談ください。

1. エンジンオイルを交換してください。
2. 燃料タンクを空にしてください。ガレージなどの屋内ではなく、換気の良い場所で燃料を排出してください。



潜在的な危険

ATVに燃料を補給する際の燃料の不適切な取り扱い。

発生する可能性がある危険

燃料が点火または爆発し、重傷または財産の損害を引き起こす可能性があります。

危険を回避する方法

常にATVに燃料を補給するか、エンジンを停止した状態で換気の良い場所で燃料を取り扱ってください。燃料を取り扱う場所で喫煙したり、裸火や火花を出さないでください。

タンクや燃料貯蔵容器をいっぱいにししないでください。燃料タンクに燃料を補給したり、排水したりするときは、燃料をこぼさないように注意してください。給油後、燃料フィルターキャップが適切かつ確実に閉じられていることを確認してください。

燃料がこぼれた場合は、エンジンを始動する前にその部分が乾いていることを確認してください。

ATVの燃料に問題が発生した場合は、KYMCO ATV正規販売店にサポートを依頼してください。

- **注記：燃料タンクを完全に空にしない場合は、タンク内の燃料に燃料安定剤を追加してください。この添加剤の入手については、KYMCO販売店にお問い合わせください。**



潜在的な危険

燃料と皮膚の長時間の接触、または燃料蒸気の吸入。

発生する可能性がある危険

燃料との接触は皮膚の炎症を引き起こす可能性があります。燃料蒸気は肺の損傷を引き起こす可能性があります。

危険を回避する方法

燃料を皮膚に繰り返しまたは長時間接触させたり、燃料蒸気を吸入したりしないでください。

子供の手の届かないところに保管してください。

3. スパークプラグを取り外し、大きじ1杯（15～20cc）のきれいなエンジンオイルをシリンダーに注いでください。電動スターターを使用してエンジンを数回転させてオイルを分配してから、スパークプラグを再度取り付けてください。
4. バッテリーを取り外し、氷点下や直射日光の当たらない場所に保管してください。お子様の手の届かない場所に保管してください。バッテリーに指定されたレートで適切な容量のバッテリー充電器を使用して、保管中に少なくとも月に1回バッテリーを充電してください。



潜在的な危険

裸火または点火源の近くにバッテリーを置く。

発生する可能性がある危険

バッテリーからのガスが爆発し、怪我をする可能性があります。

危険を回避する方法

裸火または点火源の近くにバッテリーを置かないようにしてください。

ATVのバッテリーや充電に問題が発生した場合は、最寄りの KYMCO ATV正規販売店にご相談ください。

5. ATVを洗浄し、乾燥させ、すべての塗装面にワックスをかけてください。
6. タイヤをその推奨圧力まで膨張させてください。
7. ATVをブロックに置き、4本すべてのタイヤを地面から持ち上げてください。



注意

ボディへの損傷を避けるため、ATVを直射日光の当たる屋外に保管しないでください。ATVにカバーをかぶせる場合は、換気タイプであることを確認してください。湿気がATVに結露し、錆や腐食を引き起こす可能性があるため、プラスチックカバーの使用は避けてください。

定期保守

長期保管後のATVの乗車保管

トラブルのない乗車を楽しめるように、特別な点検と調整が必要です。ATVを長期保管から再始動させる場合、KYMCOは次の手順を使用することをお勧めします。

1. ATVを完全に清掃してください
2. エンジンを清掃してください。排気システムの出口を覆っているプラグまたは保護プラスチックシートを取り外してください
3. すべての制御ワイヤーとケーブルに摩耗やほつれの兆候がないか確認してください。疑わしい部品を交換してください
4. エンジン/トランスミッションオイルを交換してください。
5. 取り付ける前にバッテリーを充電してください。バッテリーを取り付けるときは、最初にプラスケーブルを接続してください。

▲注意

バッテリーを取り付ける前に、イグニッションスイッチがオフの位置にあることを確認してください。最初にプラスケーブルをバッテリーに接続してください。

6. フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムを点検してください。ブレーキフルードとパッドの状態

が良好であること、およびブレーキ制御が適切に動作することを確認してください。

7. すべての制御、ヘッドライト、テールライト、ブレーキライト、およびヘッドライトの照準が適切に動作および調整されていることを確認してください。必要に応じて、アイテムを調整または交換してください。
8. タイヤの空気圧を確認してください。タイヤを推奨圧力まで膨らませてください。
9. すべてのナット、ボルト、キャップネジ、ネジを締めてください。これらのボルト、キャップネジ、ネジを適切なトルク仕様で締めてください。コンポーネントと一緒に保持しているリベットがしっかり締まっていることを確認してください。緩んでいるリベットを交換してください。
10. ステアリングが自由に動き、引っ掛かりがないことを確認してください。
11. スパークプラグを確認してください。必要に応じて清掃または交換してください。
12. このマニュアルの「乗車前検査」セクションに記載されている推奨事項に従ってください。

仕様*
仕様*

長さ (全体)	1900 mm (74.80 インチ)
幅 (全体)	1030 mm (40.55 インチ)
高さ (全体)	1180 mm (46.46 インチ)
シート高さ	875 mm (34.45 インチ)
ホイールベース	1160 mm (45.67 インチ)
最小地上高	250 mm (9.84 インチ)
最小回転半径	2900 mm (114.17 インチ)
装備重量 MXU 300	266 kg (586.80 ポンド)
タイプ	液冷、4ストローク、DOHC
シリンダー配列	単気筒
変位	270cc
ボアおよびストローク	72.7 x 65.2 mm (2.86 x 2.56 インチ)
圧縮比	10.8:1
始動システム	セルフ式スターター
潤滑システム	ウェットサンプ

* 仕様は予告なく変更される場合があります。

エンジンオイルの種類 (粘度チャート)	<p>The chart displays the recommended oil grades for different temperature ranges. The x-axis shows temperature in Fahrenheit (10°, 30°, 50°, 70°, 90°, 110°) and Celsius (-10°, 0°, 10°, 20°, 30°, 40°). The y-axis lists oil grades: SAE 5W, SAE 10W-30, SAE 10W-40, SAE 20W-40, and SAE 20W-50. The bars indicate the temperature range for which each grade is suitable.</p>
エンジンオイルの推奨規格	APIサービスSJタイプ以上
フロントギアボックスオイルの分類	SAE #90
リアギアボックスオイルの分類	SAE #90
エンジンオイル (定期的なオイル交換量)	1.4 L
エンジンオイル (総容量)	1.6 L
トランスミッションギアオイル (定期的なオイル交換量)	0.5 L
トランスミッションギアオイル (総容量)	0.6 L
リアドライブギアオイル (定期的なオイル交換量)	0.1 L
リアドライブギアオイル (総容量)	0.15 L

* 仕様は予告なく変更される場合があります。

仕様*

エアフィルター	ウェット、フォームタイプ
燃料 (タイプ)	無鉛ガソリン
燃料タンク容量	12.5 L
燃料タンク予備容量	1.8 L
燃料供給方式	KYMCO/PTA1燃料噴射
スパークプラグタイプ	DPR7EA-9
スパークプラグのギャップ	0.9 mm
フロントブレーキタイプ	ディスクブレーキ
リアブレーキタイプ	ディスクブレーキ
フロント	デュアルAアームタイプ
リア	スイングアーム式
フロントショックアブソーバー	コイルスプリング/オイルダンパースタイル
リアショックアブソーバー	コイルスプリング/オイルダンパースタイル

* 仕様は予告なく変更される場合があります。

仕様*

タイヤタイプ	チューブレスバイアスタイヤ
フロントタイヤ	22 X 7-10
リアタイヤ	22 X 10-10
ヘビー比 (AWS/AWB)	0.77
ライト比 (AWS/AWB)	0.70
イグニッションシステム	ECU-自動制御
発電システム	ACオルタネーター
バッテリータイプ	12V、14AHMFタイプ
ヘッドライト	12V 35W/35W x 2
ブレーキライト	12V35W x2
テールライト	12V35W x2
位置灯	12V 1W x2
ウインカーライト	FR : 12V/2W x2/RR : 12V/10W x2
騒音値	85 dB (A)

*仕様は予告なく変更される場合があります。

排出ガスと注意事項タンパリングアラート

クランクケース排ガス浄化システム

ATVのエンジンには、クローズドクランクケースシステムが装備されています。ブローバイガスは、吸気システムを介して燃焼室に戻されます。このシステムは、ブローバイガスが大気に解放されることを防止します。

排気ガス浄化システム

ATVからの排気ガスは、エンジンの設計、工場で設定された燃料供給、点火設定、および排気システムの設計によって制御されます。このシステムには、二次空気供給システムと排気システム内の触媒も含まれます。

ノイズ排出浄化システム

~~ノイズ制御システムコンポーネントの改ざんは禁止されています。~~

~~特定の地方、州、および連邦の法律および規制は、以下の行為または関連する行為を禁止しています。~~

- ~~(1) 保守、修理、交換以外の目的で、最終的な購入者に販売または配送する前、または使用中に、騒音制御の目的で新しい車両に組み込まれたデバイスまたは設計要素を取り外したり、操作不能にしたりすること。~~
- ~~(2) そのような装置または設計要素が取り外された後、または誰かによって操作不能になった後の車両を使用すること。~~

~~改ざんを構成すると推定されるこれらの行為の中には、以下の表にリストされている行為があります。~~

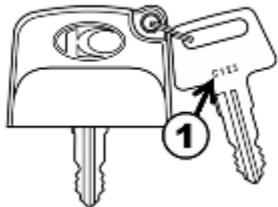
排気システム	マフラー 排気管 消音器
吸気システム	エアクリナーケース エアクリナーフィルターエレメント 吸気ダクト

保守記録

ATVでKYMCO保証修理の対象となる可能性のある修理が必要な場合は、車両の保守履歴の記録と文書を提示する必要があります。以下のチャートは、記録を整理するのに役立ち、重要な保守間隔を通知するのに役立ちます。チャートだけでは、サービスの証明は文書化されていません。販売店の修理注文のコピーと、保守に関連するすべての購入の領収書を保持してください。

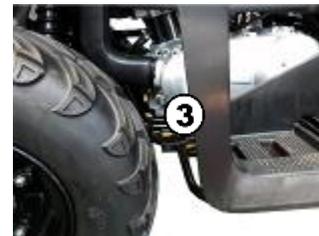
150 km (90 マイル)			
1000 km (600 マイル)			
2000 km (1200 マイル)			
3000 km (1800 マイル)			
4000 km (2400 マイル)			
5000 km (3200 マイル)			
6000 km (3800 マイル)			
5000 km (4200 マイル)			
8000 km (4800 マイル)			
9000 km (5400 マイル)			
10000 km (6000 マイル)			

識別番号記録



①イグニッションスイッチキーID番号

②



②車両識別番号 (VIN)

③エンジンシリアル番号 (ESN)

将来の参照用に (KYMCO ATV認定販売店部品を注文する際に、またはATVが盗まれた場合の参照用に)、上記のボックスに車両識別番号とエンジンシリアル番号を記録してください。